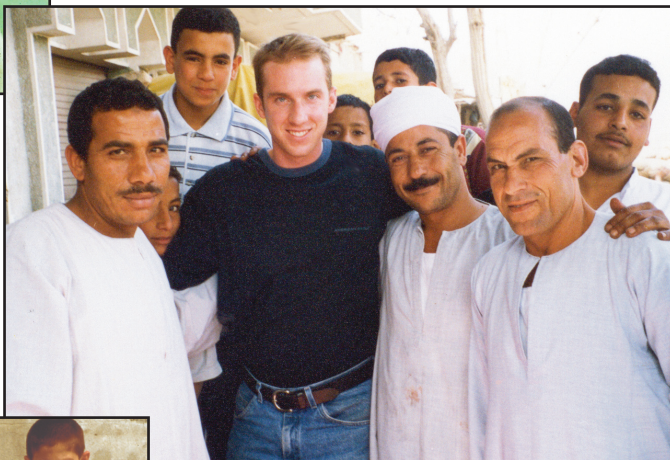
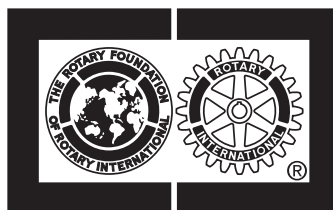


# 地区ロータリー財団 セミナーの手引き

---





# 目次

<b>入門 — プログラムの内容</b>	<b>1</b>
よく尋ねられる質問	1
地区のニーズを調査する	2
地区セミナーの議事予定の作成	2
4時間の予定表見本	2
6時間の予定表見本	3
<b>成果あふれるセミナーを行うためのヒント</b>	<b>5</b>
セミナーの推奨議題	5
<b>一般的な計画の手順</b>	<b>7</b>
日程表	8
予算	9
評価	9
評価書式見本:個々のプログラム	10
評価書式見本:地区セミナー	11
地区ロータリー財団セミナーのセミナー後の評価書	13
<b>セミナーの研修資料</b>	<b>15</b>
資料のご使用にあたって	15
効果的な研修方法	15
精選出版物	16
<b>クラブのロータリー財団委員会委員長</b>	<b>19</b>
クラブのロータリー財団委員会委員長の役割	19
クラブのロータリー財団セミナーの議事見本	19
<b>人道的補助金プログラム</b>	<b>21</b>
地区補助金	21
ボランティア奉仕活動補助金	22
マッチング・グラント	24
保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金	25
人道的補助金の資金管理	26
<b>ポリオ・プラス</b>	<b>29</b>

<b>教育的プログラム</b>	<b>31</b>
平和および紛争解決の分野における	
国際問題研究のためのロータリー・センター	31
ロータリー平和および紛争解決研究プログラム	33
国際親善奨学金	36
研究グループ交換	39
大学教員のためのロータリー補助金	43
ロータリー財団学友	45
<b>寄付増進</b>	<b>47</b>
年次プログラム基金	48
恒久基金	51
大口寄付	52
寄付増進業務	53
シェア・システム	56
<b>ロータリー財団の財務</b>	<b>59</b>

---

# 入門 – プログラムの内容

## よく尋ねられる質問

---

### 「地区ロータリー財団セミナーの実施責任者は誰ですか」

地区ロータリー財団委員会をはじめとする地区指導者です。アドバイザー、顧問、基調講演者としてロータリー財団地域コーディネーターの支援を得ることもできます。。

### 「地区セミナーへの出席を誰に呼びかけるべきでしょうか」

出席は地区内の全会員に奨励されていますが、クラブ会長、次期クラブ会長、クラブ財団委員長、クラブ財団委員会委員、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、国際奉仕委員長、財団について学びたい新会員などが主な出席者となります。

### 「なぜ地区ロータリー財団セミナーを実施するのですか」

具体的には、セミナーは以下の機会を提供します。

- ・ 財団プログラムへの支援や参加に対するロータリアンの意欲を高める。
- ・ ロータリー・クラブとロータリアンに対し、財団プログラムに参加することの恩恵を強調する。
- ・ 基本的な財団プログラムと方針を概説する。
- ・ ロータリー財団プログラムや方針の変更事項をロータリアンに知らせ、来たる年度の目標を説明する。
- ・ 財団へ多大な寄付をした地区内の個人やクラブを表彰する。
- ・ 財団プログラムと活動に関する質問に答える。

セミナーの目標には以下があります。

- ・ 人道的補助金プログラムと教育的プログラムへの財政的支援を増やす。
- ・ クラブ財団委員会の設置を奨励する。
- ・ ロータリー財団を支援するようクラブ会員の意欲を高めるための資料や研修を、クラブ指導者に提供する。

### 「いつ地区ロータリー財団セミナーを開催するべきですか」

ロータリー年度のできるだけ早い時期（望ましくは11月15日まで、できれば9月30日まで）に行います。地区指導者が、ロータリー財団地域コーディネーターの行うロータリー財団地域セミナーに出席してから開くこともできます。。

## 地区のニーズを調査する

---

ほかのロータリアンの声に耳を傾けてください。特に、クラブのロータリー財団委員長、クラブ会長、次期クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー補佐の言うことに注意を払いましょう。あなたや管理委員会が重要と判断した情報を伝えながら、同時にロータリアンの関心を汲んだプログラムを作成するよう心がけてください。ロータリー財団のプログラムに参加し、財政面で支援することの恩恵を説明することが極めて重要です。ロータリー財団に関するすべてを網羅することは恐らく不可能ですから、すべての情報を提示しなければならないと感じる必要はありません。セミナーの内容は、地区のロータリアンにとって意味のあるものにしてください。

## 地区セミナーの議事予定の作成

---

以下は、地区のニーズに合わせて修正して使用できる議事予定の見本です。

### 4時間の予定表見本

0800-0830 登録

#### 開会本会議

0830-0845 開会の辞と紹介（セミナーの目的と目標）

0845-0915 地区における財団の前年度の成功と実績を織り込んだ、意欲を喚起するための序論となる講演。最も効果的な講演には、スライドやビデオによる発表、プログラムの受益者による感動的な講演などが含まれる

0915-0945 最新情報次年度のプログラムや方針の変更、目標に関する財団全般の最新情報（詳細な情報は配布資料を用いる）

0945-1000 休憩

1000-1045 ワークショップ／グループ討論（セッション1）

1045-1055 次のワークショップに移動

1055-1140 ワークショップ／グループ討論（セッション2）

1140-1150 本会議場に移動

#### 閉会本会議

1150-1220 感動的な閉会の辞（開会本会議で使わなかった形式を選ぶ）

1220-1230 セミナーの評価

#### 6時間の予定表見本

0800-0830 登録

#### 開会本会議

0830-0845 開会の辞と紹介（セミナーの目的と目標を含む）

0845-0915 地区における財団の前年度の成功と実績を織り込んだ、意欲を喚起するための序論となる講演。最も効果的な講演には、スライドやビデオによる発表、プログラムの受益者による感動的な講演などが含まれる

0915-0945 最新情報次年度のプログラムや方針の変更、目標に関する財団全般の最新情報

0945-1000 休憩

1000-1100 ワークショップ／グループ討論（セッション1）

1100-1110 次のワークショップに移動

1110-1210 ワークショップ／グループ討論（セッション2）

1210-1300 昼食後、開会本会議で使わなかった方式で20分間の感動的な講演を行う

#### または、代案として

昼食後、20分間、ロータリー財団寄付者に対する表彰を行う

1300-1350 ワークショップ／グループ討論（セッション3）

1350-1400 本会議場に移動

#### 閉会本会議

1400-1420 感動的な閉会の辞（開会本会議で使わなかった形式を選ぶ）

1420-1430 セミナーの評価





---

# 成果あふれるセミナーを行うための ヒント

---

## セミナーの推奨議題

---

ワークショップやグループ討論では、各々の地区指導者の具体的な役割に基づいて、以下の議題を取り上げることができます。2つ以上の役割に当てはまる主題を統合したり、他の研修会合の内容と調節して、主題を削除または追加することもできます。ロータリアンの一般的な関心を引く追加議題も参考にしてください。

### クラブ会長エレクト、クラブ財団委員長、クラブ会長、財団委員会、その他のロータリアン

- 財団の概要
- 財団目標の設定：実行項目と予定表
- 財団プログラム：参加するロータリー・クラブ、ロータリアンへの恩恵
- 寄付増進の基本要素
- 財団のための募金活動
- 財団の責務
- 財団月間の諸活動
- 財団報告書を読む
- ロータリー・クラブにとって意義ある財団プログラム
- 財団目標の達成：プログラムへの参加と寄付増進
- ロータリー財団の未来
- 恒久基金
- 人道的補助金プログラム
- ポリオ・プラス
- 教育的プログラム
- ロータリー財団資金の管理
- ロータリー財団へのプログラム活動の報告

#### セミナーの追加議題

- 財団の推進
- プログラムの評価：何が効果的で、何が効果的でないか
- 財団学友
- シェアを理解する

---

# 一般的な計画の手順

地区ロータリー財団セミナーを計画するにあたり、取り組むべきいくつかの手配上の事項があります。これらは、予算、会場の選定、推進、登録、印刷、会場監督、宿泊および交通手段（規模の大きい地区の場合）などです。これらの任務を果たすために、各部門を担当する委員会を任命する必要があります。

セミナーの計画を始めるにあたり、以下を行う必要があります。

1. **セミナーのための行動計画と日程表を作成する。**
2. **目標に適い、地域にふさわしいロータリー財団セミナーの議事予定の草案を作成する。**これまでに役立ってきた点と、改善を必要とする点の両方を考える。地区のロータリアンに意見を求め、前任者の経験をさらに発展させる。
3. **セミナー委員会を設置する。**適材適所を考慮してロータリアンを人選する。満足のゆく委員会の構成と機構が定められたら、委員を引き受けてくれるよう正式に要請する。その責務内容を明確に定める。
4. **講演者、パネリスト、グループ討論リーダー、会場監督、その他セミナーで重要な役割を果たす人を決める。**講演者としては財団学友、ロータリー財団地域コーディネーター、ゾーン・チームのメンバーなどが考えられる。これらの支援者に対し、あなたの要望を明確に説明した正式な招請状を送付する。資料を作成する際には、主な参加者全員と協力する。
5. **ニーズに合わせて会場を確保する。**本会議場、グループ討論会場、食事の手配、登録場の設置、宿泊施設、その他プログラムに必要なことを詳細にわたり明確に決めておく。
6. **会場監督を選考する。**適切であれば、委員会委員を登用する。
7. **できるだけ早めに開催日を参加者全員に知らせる。**事前に登録資料を含めた関係資料を作成し、郵送する。必要であれば、後日さらに確認する。
8. **諸費用を明確にする。**

さらに、

- できるだけ早めに準備を開始する。
- 入念に計画し、予定通りに実行する。
- 適切であれば、他の人に責務を委任する。
- 厳密に予算を作成する。
- 事務局職員、特にロータリー財団職員からの支援を活用する。
- 次年度のセミナー立案者のために詳細な記録を保存する。
- 不測の事態に備える。

## 日程表

ロータリー財団管理委員会は、地区ロータリー財団セミナーをロータリー年度の早い時期（できれば11月15日まで）に開催することを推奨しています。このような日程を定めれば、ロータリアンは、自分が学んだことを実践的に生かすことができ、年度末までに目標の達成が可能となるでしょう。

この用紙には、ロータリー財団セミナーを計画するために空欄が設けられています。計画を確認したり、追加情報を収集するために、他の財団指導者やプログラム参加者に連絡をお取りください。提案されている予定表や活動を、地区のニーズに合わせて応用してください。

### 適切な時期

### 活動

#### 18週間前

- \_\_\_\_\_ セミナー開催について地区ガバナーに連絡する。地区ガバナーにセミナー参加を要請する。
- \_\_\_\_\_ セミナー委員を選出する。
- \_\_\_\_\_ クラブ会長、クラブ会長エレクト、地区ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区小委員会委員長、クラブ財団委員長、地域担当のロータリー財団地域コーディネーター、大口寄付アドバイザーや年次寄付アドバイザーなど参加が望まれる人に、個人的な招待状と登録書式を送付する。
- \_\_\_\_\_ プロジェクトや他の展示の手配をする。

#### 8週間前

- \_\_\_\_\_ ロータリー財団からセミナーの資料を取り寄せる。
- \_\_\_\_\_ 実施会場にセミナー資料の配達物を受け取ってくれるよう手配する。
- \_\_\_\_\_ プログラムと講演者の最終計画を立てる。

#### 3～7日前\*

- \_\_\_\_\_ セミナー会場に食事と飲み物の最終数を知らせる（\*あるいはセミナー会場側から指定された期日までに知らせる）

#### 実施後45日以内

- \_\_\_\_\_ 「地区ロータリー財団セミナー後の評価書」を、担当のロータリー財団地域コーディネーターに提出する。

## 予算

---

不測の事態に備えて十分な予備資金を用意し、セミナー予算は予想出席者数に基づいて作成します。予算額の配分が決定されたら、それからなるべく逸脱しないようにします。セミナーの費用が予算額（または収入）を上回ったとしても、ロータリー財団は差額を負担しません。

## 評価

---

評価は、あらゆる効果的な研修プログラムにおいて重要な側面です。以下の評価書式見本を、ロータリー財団セミナーを評価する手段として、地区のニーズに合うよう適宜修正を加えて活用してください。

第13ページの「地区ロータリー財団セミナー後の評価書」は、見本ではありません。記入した評価書式を、地区ロータリー財団セミナー終了時に、担当のロータリー財団地域コーディネーターに提出してください。

## 評価書式見本：個々のプログラム

セミナー指導者に記入済みの評価書式をお返してください。

講演者の氏名：山田太郎

主題：財団の推進資料と手段

目標：ロータリー財団のプログラムおよび財政的支援の推進のために利用できるさまざまな資料や手法を紹介する。

以下の数字を使って、評価してください。

1=期待をはるかに上回った

2=期待通りだった

3=期待通りではなかった

4=期待を著しく下回った

### セッションの成果

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 1. 上述の目標を達成しましたか。                                   | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 新しいアイデアを与えるものでしたか。                               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 地区やクラブ活用できるような関連情報が提供されましたか。                     | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 自分の理解の範囲と知識のレベルに応じたものでしたか<br>(例：専門的すぎる、簡単すぎる、等)。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 質問や討論の機会は十分にありましたか。                              | 1 | 2 | 3 | 4 |

その他のご意見

## 評価書式見本：地区セミナー

セミナー指導者に記入済みの評価書式をお返しください。

地区番号： \_\_\_\_\_

これは地区ロータリー財団セミナーの効果を評価する書式です。皆さまからのご意見は、次年度のプログラムを計画する際に参考とさせていただきます。率直なご意見をお願いいたします。下記の各項目を読み、最も当てはまる数字を丸で囲んでください。

1 = 非常にそう思う    2 = そう思う    3 = そう思わない    4 = 全然そう思わない

今日のセミナーの結果、

### 財団プログラム

教育プログラムの恩恵について学んだ。 1    2    3    4

人道的補助金の恩恵について学んだ。 1    2    3    4

財団学友を探すことの重要性を学んだ。 1    2    3    4

### 財団の財務

財団資金の基本について理解した。 1    2    3    4

### 寄付増進

恒久基金と年次プログラム基金の両方を支援する  
必要性を理解し、説明できるようになった。 1    2    3    4

「毎年あなたも100ドルを」の必要性を理解した。 1    2    3    4

役立つ募金方法を学んだ。 1    2    3    4

### シェア・システム

他のクラブ会員に、シェア・システムについて  
説明できるようになった。 1    2    3    4

### 総合的印象

地区セミナーは貴重な体験だった。 1    2    3    4

研修指導者は内容について豊富な知識を持っていた。 1    2    3    4

研修指導者は参加者の発言を促した。 1    2    3    4

ロータリーの現在の役職 \_\_\_\_\_

所属ロータリー・クラブ \_\_\_\_\_

貴重なご意見をありがとうございました。





## 地区ロータリー財団セミナー後の評価書

セミナーの終了時に、本書式にセミナーの議題を添えて、担当のロータリー財団地域コーディネーターおよび地区ガバナーまでご提出ください。

地区番号： \_\_\_\_\_

セミナー開催日： \_\_\_\_\_

セミナー会場： \_\_\_\_\_

セミナーの参加者総数： \_\_\_\_\_

以下の各役職の総出席者数をご記入ください。

クラブ会長 \_\_\_\_\_

クラブ会長エレクト \_\_\_\_\_

ガバナー補佐 \_\_\_\_\_

地区財団小委員会委員長 \_\_\_\_\_

クラブの財団委員長 \_\_\_\_\_

その他 \_\_\_\_\_

出席者を派遣したクラブの総数： \_\_\_\_\_

今年度、これらのクラブに財団の情報を伝えるために何を実行しますか。

担当のロータリー財団地域コーディネーターは、地区のセミナーに参加しましたか。

セミナーで提起された財団に関する問題や懸念がありましたら、ご記入ください。

その他のロータリーの役員（例えば、理事や管理委員など）がセミナーに出席しましたか。出席した場合には、その氏名を列記し、セミナーにおける役割を記述してください。

財団プログラム、寄付増進活動、方針などに関してセミナーで提言されたことがありましたら、詳細に記述してください。

セミナーに関する感想と意見をご記入ください（必要に応じて、別紙をお使いください）。

提出者： \_\_\_\_\_

ロータリーにおける現在の役職： \_\_\_\_\_

提出日： \_\_\_\_\_

日頃よりロータリー財団をご支援いただき、誠にありがとうございます。

---

# セミナーの研修資料

---

## 資料のご使用にあたって

本章で紹介する資料は、地区独自の地区ロータリー財団セミナーを企画する上で役立つものです。セミナーの議事プログラムに含めるプログラムまたは活動については、それぞれのセクションをご参照ください。各セクションには研修の際に使用できる基礎情報が含まれています。これには、プログラムまたは活動の概要、成果を上げたプロジェクトの見本、討論の推奨議題、よく尋ねられる質問の回答例などが含まれています。

トピックによって研修担当者が異なる場合、各担当者に関連資料を渡してください。

---

## 効果的な研修方法

以下は、効果的な研修を行なうための推奨形式です。本手引きの資料や、研修内容に関連するご自身の経験を生かすことのできる形式となっています。

### I. 自己紹介

名前、所属ロータリー・クラブ、役職、プログラムでの経験（例えば、地区研究グループ交換小委員会の委員長やマッチング・グラント・プロジェクトの連絡担当といった経験）など、自己紹介をします。。

### II. 意欲の喚起

参加することの意義を例証し、意欲が高まるような話を紹介します。例えば、地区内のクラブが実施し、成功を収めたプロジェクトの事例などを話すとよいでしょう。

### III. 資格基準

本手引きに挿入されている配布資料やCD（別送）に収められているスライドを使い、プログラムの資格基準について概説します。概要のコピーを参加者に配布してプログラムについて学ぶとともに、プログラムの資格基準、締切日、指導者の責務、担当職員の連絡先といった情報を伝えます。

#### IV. プログラムの意義

自らの経験に基づき、参加者にそのプログラムの意義や参加方法を説明します。プログラムの特徴や手続きに関する説明は最小限に抑え、その代わりに、プログラムがロータリアンやロータリー・クラブ、世界にどのような恩恵をもたらすかをできる限り多く話します。例えば、国際親善奨学金に関する研修の場合、実際に候補者を推薦して地区の審査を受けるまでの過程を概説するクラブもあるでしょう。また、元国際親善奨学生を招いて話をしてもらうことを選ぶクラブもあるかもしれません。クラブ会員の1人が受入側カウンセラーとして奉仕しているクラブもあるでしょう。

#### V. 質疑応答

参加者がプログラムについて質問をする時間を設けてください。時間が許せば、(本手引書の各財団プログラムの要約の後に挿入されている)「討論の推奨主題」から質問を採り入れてもいいでしょう。

**時間配分** — 上記の構成は、(質疑応答に割く時間にもよりますが) 20～30分の発表に適しています。この構成は参加者のニーズに合わせて、あるいはセミナーの予定に応じて修正することができます。

### 精選出版物

---

以下は、地区ロータリー財団セミナーで使うことのできる一般的な財団出版物の推奨リストです。特に明記されていない限り、これらの出版物は無料です。参加者が関心のある出版物を選べるよう、資料をテーブルに展示することをお勧めします。4人に1部の割合で出版物を注文するのが大体の原則です。特定のロータリー財団プログラムおよび活動に関する出版物は、本手引きのロータリー財団のそれぞれのセクションに紹介されています。

カタログ番号が付いている出版物および申請書式は、電話 (1-847-866-4600) またはファックス (1-847-866-3276) でRI世界本部の出版物注文課、shop.rotary.orgのオンライン・カタログ(英語のみ)、あるいはRI日本事務局からご入手いただけます。申請書式は、特に明記されていない限り、RIのウェブサイトからもご入手いただけます。

RIカタログ (019-JA) の中の注文用紙を使って、世界本部あるいは日本事務局にご注文いただくこともできます。ご注文の手続と発送には少なくとも6週間かかりますのでご了承ください。ロータリー財団の出版物と視聴覚資料はすべてRIカタログに掲載されています。特に明記されていない限り、英語 (EN)、日本語 (JA)、フランス語 (FR)、韓国語 (KO)、ポルトガル語 (PT)、スペイン語版 (ES) が用意されています。

出版物名	出版物 番号	単価（米貨）
<b>教育的プログラム</b>		
「ロータリー世界平和フェローシップ・パンフレット」*	084-JA	無料
「ロータリー世界平和フェローシップ申請書」*	083-JA	無料
「Rotary World Peace Fellowships Poster（ロータリー世界平和フェローシップ・ポスター）」	075	無料 （1部限定）
「ロータリアンのためのプログラム手引き：国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラム」	085-JA	無料
「国際親善奨学金パンフレット」	132-JA	無料 （25部限定）
「大学教員のためのロータリー補助金申請書」		ウェブのみ
「ロータリアンのための奨学金の手引き：国際親善奨学金および大学教員のためのロータリー補助金」	012-JA	無料 （2部限定）
「研究グループ交換パンフレット」	160-JA	無料
「ロータリアンのためのプログラムの手引き：研究グループ交換」	165-JA	無料
*083-JAと084-JAは併せて注文し、配布することが推奨されています。		
<b>寄付増進</b>		
「Named Funds（冠名基金）」	110-EN	無料 （100部限定）
「ベネファクター寄付誓約書」	149-JA	無料 （100部限定）
「二つのニーズに応える、二つの寄付方法」	173-JA	無料 （100部限定）
「Securing the Future（確かな未来－ロータリー財団への遺贈）」	183-EN	無料 （100部限定）
「遺贈友の会への入会ご案内」	097-JA	無料 （100部限定）
「遺贈友の会申込書」	098-JA	無料 （100部限定）
「Publicly Traded Securities（証券の公的取引、米国、カナダのみ）」	175-EN	無料 （100部限定）
「Life Income Gifts（生涯収入の準備、米国のみ）」	109-EN	無料 （100部限定）

「Donor Advised Funds Leaflet（使途推奨冠名基金小冊子）」	382-EN	無料 (100部限定)
「毎年あなたも100ドルを〔パンフレット〕」	957-JA	無料
「毎年あなたも100ドルを〔DVD〕」	978-MU	米貨15ドル
「度毎年あなたも100ドルを『財団の友』会員バッジ・ステッカー」	956-MU	無料（1枚のシートに64枚のステッカー）
<b>人道的補助金プログラム</b>		
「保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金の手引き」	158-JA	無料
「マッチング・グラントの手引き」	144-JA	無料 (5部限定)
「マッチング・グラント申請書」		ウェブのみ
「地区補助金管理のためのベストプラクティス」	156-JA	無料
「ボランティア奉仕活動補助金パンフレット」	150-JA	無料
「ボランティア奉仕活動補助金申請書」		ウェブのみ
<b>管理運営</b>		
「ロータリー財団申請手続早見用手引き」	219-JA	無料
「ロータリー財団年次報告」	187B-JA	無料
「ロータリー財団携帯用カード」	159-JA	無料
「ロータリー財団管理委員会の目標」	208-JA	無料
<b>ポリオ・プラス</b>		
「ポリオ・プラス：世界の子供たちへの贈り物 (DVD)」	317-MU	米貨15ドル
「ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キット」		ウェブのみ
「ポリオ・プラス・パンフレット」	323-JA	無料
「PolioPlus Poster (ポリオ・プラス・ポスター)」	327-EN	無料
「ポリオにうち克つ (CD)」	329-MU	米貨5ドル
<b>ポスター</b>		
「ロータリー財団マーク入りポスター」	318-MU	無料
「毎年あなたも100ドルを〔ポスター〕」（2枚組）	959-JA	無料 (2部限定)

---

# クラブのロータリー財団委員長

---

## クラブ財団委員長の役割

地区財団セミナーの一部をクラブ財団委員長の研修に当ててください。詳しくは、「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」(155-JA)をご覧ください。

---

## クラブのロータリー財団セミナーの議事見本

**対象:**クラブ財団委員長、クラブの会長と会長エレクト、国際奉仕委員長、社会奉仕委員長、財団プログラムに関心ある会員、ガバナー補佐

- 0800 登録とコーヒータイム
- 0830 挨拶
- 0840 セミナーの趣旨説明
- 0850 国際ロータリーのロータリー財団:概観
- 1000 クラブのロータリー財団委員長の役割  
クラブ会長、国際奉仕委員長、社会奉仕委員長はどのようにロータリー財団の支援を得ることができるか
- 1030 マッチング・グラントークラブのための手段
- 1100 休憩
- 1110 地区補助金ークラブのためのもう1つの手段
- 1130 地域社会における教育的プログラムの推進
- 1200 財団のための抛金活動（「毎年あなたも100ドルを」）
- 1230 昼食（ピュッフェ式）
- 1300 基調演説（昼食中）

1330	財団学友の効果的な活用法
1350	意義あるプログラムを見つけるには
1355	クラブ財団委員長に対する地区の支援
1400	クラブ財団委員長に対するゾーンと国際ロータリーの支援
1410	認証とクラブ財団報告書の読み方
1430	質疑応答
1455	セミナーのまとめとなる感動的な結びの辞
1500	散会

**必要なもの：**

- 教室形式に机といすを並べた会場
- 名札と卓上用名札
- スクリーン、OHP、大型用紙を2つ、各種マーカー
- マイクと演壇、可能であれば手持ちマイクを2本



---

# 人道的補助金プログラム

## 地区補助金

---

このプログラムの目的は、奉仕や人道的プロジェクトを支援するために地区が地区財団活動資金 (DDF) の一部を使用できるようにすることです。地区は、地区補助金を地元や海外での複数のプロジェクトに使うことができます。

### 地区補助金プロジェクトの例

第1234地区には、使用できる資金が米貨20,000ドルあります。これを5,000ドル単位に分け、最も必要度の高い地域社会を援助するために、地区全体で4つの異なるプロジェクトを実施することに決めました。地区では、数々の応募の中から、次の上位4つの奉仕プロジェクトを選びました。

- 都心部の学校の芸術プログラムに、美術用具、楽器、書籍を提供する。
- エチオピア、アディスアベバの学区に図書を寄贈する。
- 地域の女性保護施設のためにコンピューターや電話を供給し、パンフレットを作成する。
- 地元のホームレス保護施設へ2カ月分の食糧を供給する。

### 討論の推奨主題

- 地区は補助金の使い方をどのように決定するか。
- 地区は、クラブの活動を支援するために補助金資金をどのように使用することができるか。
- ロータリー・クラブはこのプログラムからどのような恩恵を受けるか。
- 地区補助金における地区の役割は何か。
- 地区が地元以外のプロジェクトを実施することを決めた場合、海外の地域社会に対して地区はどのような責任を負うか。「植民地的意識」を避け、われわれの願いを他の地域に一方的に押し付けないようにするためには、どうすれば良いか。

## よく尋ねられる質問

**地区は、一年間に何口まで地区補助金を受領することができますか。**

ロータリー年度につき補助金は1口となります。地区は、3年前の年次寄付を基にしたDDFの最高20パーセントまで補助金を受領することができます。米貨25,000ドル以上の資金が利用可能な地区の場合、支払いは支出計画に基づいて行われます。地区は、1件のプロジェクトで全額を支出する必要はなく、複数の異なるプロジェクトに資金を提供することができます。補助金は複数のクラブに配分される場合もありますが、財団への中間報告書および最終報告書の提出は地区が責任を持って行います。

**地区は自由に資金を充てることができますか。**

地区は適切なプロジェクトを見つけ出し、すべてのプロジェクト活動と補助金がロータリー財団の指針に沿うよう計らう責務があります。それを怠った場合、地区は補助金を返還しなければならず、最高5年間補助金の受領を禁じられる可能性があります。地区は、資金を配分する前に、財団の指針を熟知しておくべきです。

**クラブは、どうすれば地区補助金プログラムに積極的に関与することができますか。**

地区は、立案、実施、補助金支出の監督から詳細な報告書を提出するに至るまで、プロジェクトの全分野に対し責任を負います。これは、クラブが補助金を受領するには地区指導者と協力しなければならないことを意味します。地区は、補助金資金の使い方を決めなければなりません。その際、1つの大規模なプロジェクトに全額を費やすか、地区全域を通していくつかの小規模なクラブ・プロジェクトに費やすかも決めます。異なるクラブに資金を授与することに決めた場合、地区は、補助金の全額に関しロータリー財団に報告する責任があります。しかし、地区補助金プログラムへの参加は、協同の活動であると考えるべきです。

**この資金を得るために、地区はどのような手続きを踏めばよいですか。**

地区は財団に申請を提出しなければなりません。資金が用意される前のロータリー年度に、地区は資金使用の申請を提出することが強く奨励されています。

**クラブは、地区補助金を申請することができますか。**

いいえ。クラブは地区が定めた指針や受領資格に従わなければなりません。

**2つの地区が、共同プロジェクトを実施するためにDDFを組み合わせることができますか。できる場合、プロジェクトの報告義務を負うのはどちらですか。**

地区がプロジェクトにおいて協力することも可能です。ただし、各地区が補助金資金の使用について別個の報告書を作成することを、ロータリー財団は義務づけています。これは、各補助金資金が別個に管理され、資金が混同されてはならないことを意味します。

## ボランティア奉仕活動補助金

ボランティア奉仕活動補助金は、地域社会で必要とされる奉仕やプロジェクトを実施するため、資格あるロータリアンとその配偶者が海外へ赴くのを支援します。

## ボランティア奉仕活動補助金の例

- 教育専門家であるケニアのロータリアンは、アパラチア山脈（米国）の学区で、教師たちとカリキュラムを開発するために1カ月間奉仕しました。
- 2名のロータリアンが、地域社会の精神医療センターを支援するためのマッチング・グラント・プロジェクトの最終計画をまとめるために、ロシアのチタを訪問しました。

## 討論の推奨主題

- ボランティア奉仕活動補助金を使用して、どのように地区補助金あるいはマッチング・グラントを支援することができるか。
- ロータリアンは、自分の技能やプロジェクト案がプロジェクト地で実施できるかどうかを、どのように決めるか。
- このプログラムは、ロータリー・クラブにどのような恩恵を与えるか。

## よく尋ねられる質問

**ボランティア奉仕活動補助金を受けられるのは誰ですか。**

資格あるロータリアンとその配偶者です。

**「資格ある」とはどのような意味ですか。**

旅行者の資格要件は、1) 地域社会の明確なニーズがあること、2) ロータリアンまたはチームの経験や技能がそのニーズを満たすことができること、3) 地域社会ではその経験や技能が得られないこと、に基づいています。

**財団は、ロータリアンのために国際奉仕の機会を探してくれますか。**

ボランティア奉仕活動補助金は、奉仕の機会を斡旋するためのプログラムではありません。すべての連絡および手配は、ボランティアとプロジェクトの間で直接行われます。国際ロータリーを通じてのロータリー・ボランティア・プログラムは、2種類のリストを提供し、ロータリアンのボランティアを支援しています。ロータリー・ボランティア国際プロジェクト実施地リスト (International Site List) には、ボランティアを求めている世界中のロータリー・プロジェクトが掲載されています。一方、ロータリー・ボランティア登録データベース (Rotary Volunteers International Site Database) は、世界各地でボランティア活動を希望する個人の情報が登録されています。もう一つの有用な資料として、検索可能なProjectLINK (プロジェクトリンク) もあります。詳細情報は、RIウェブサイト([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) をご覧いただくか、RIプログラム部にご連絡ください。

**ロータリアンが管理していないロータリー以外のプロジェクトでボランティアすることはできますか。**

はい。ただし、プロジェクト実施地に最も近いロータリー・クラブから要請され、招待を受けなくてはなりません。記入したボランティア奉仕活動補助金申請書を提出する際には、あなたのボランティア期間の正確な日付を記したクラブ会長の署名入りの招請状を添付する必要があります。また、招請状には、地域社会が技能あるいはプロジェクトを必要としている旨が明記されていなければなりません。

ロータリー・クラブが妥当な距離内に存在しない場所で、ボランティア活動にあたることができますか。

いいえ。個人向け補助金プロジェクトは、2つのロータリー・クラブ間が協同提唱するものです。人道的補助金プログラムの意図は、異なる国のクラブが協力してプロジェクトを実施することによって、ロータリーのネットワークの充実化を図ることです。

## マッチング・グラント

---

マッチング・グラントを通じて、ロータリー財団は、2カ国以上のロータリー・クラブや地区が参加する国際的かつ人道的なプロジェクトのために、ロータリー・クラブと地区からの寄付に組み合わせ補助金を提供します。

### マッチング・グラント・プロジェクトの例

- ・ 必要に応じて井戸を設置できるよう、タンザニアのアルーシャ町議会へ削掘装置、技術研修および地域社会の地質調査を提供する。
- ・ インドのムンバイにある先住民族のための病院へ医療装置を購入する。

### 討論の推奨主題

- ・ プロジェクトの協同提唱者間のコミュニケーションを確立するには、何が必要か。
- ・ 協同提唱者は、どうすれば、そのプロジェクトが地域社会で最も必要とされ、効果をもたらすものであると知ることができるか。
- ・ なぜプロジェクト実施地の関与が重要なのか。
- ・ このプログラムは、ロータリー・クラブにどのような恩恵を与えるか。
- ・ プロジェクト実施地のロータリアンがその地域のプロジェクトの最も優れた専門家であるのはなぜか。
- ・ 「植民地的意識」を避け、われわれの願いを他の地域に一方的に押し付けないようにするためには、どうすれば良いか。
- ・ 良きプロジェクトの協同提唱者を見極める方法は何か。

### よく尋ねられる質問

マッチング・グラントの限度額はいくらですか。

補助金の最低額は米貨5,000ドル、最高額は米貨150,000ドルです。米貨25,000ドルを超える資金の申請は競争制マッチング・グラントとして分類され、管理委員会が年に2回これを審査します。

財団によるマッチング（組み合わせ資金）はどのようなものですか。

ロータリー財団は、地区財団活動資金（DDF／シェア）の寄贈に対して1対1、新規の現金寄付に対して0.5対1の割合で組み合わせ補助金を提供します。

財団は、受益者に直接補助金を支払うことができますか。

いいえ。ロータリー財団はロータリー・クラブおよび地区に対して補助金を支払います。提唱クラブまたは地区は、支払われた補助金を全面的に管理し、支出を報告する義務があります。ロータリー財団の補助金は、ロータリアンの活動を支援するものであり、他団体を支援するものではありません。他団体がプロジェクトの実施を援助することもあります。常にロータリアンが関与していなければなりません。

プロジェクトの協同提唱者に何を求めるべきでしょうか。

距離が遠く離れた協力関係を築くことはなかなか難しいものですが、次の事柄に注意を払う必要があります。

- 当該地域社会と直接的な関係を築き、知り合いを作る。ロータリアン同士の友情に取って代わるものはない。
- 次のような以前のプロジェクトの成果を実証するもの。
  - 実施
  - 報告
  - 持続可能性
- 意思の疎通をうまく図る。協同提唱クラブと定期的に連絡を取り合うために必要な情報をすべて入手しているか。

## 保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金

---

保健、飢餓追放、および人間性尊重(3-H)補助金は、草の根レベルで行われる大規模で国際的かつ長期的な自主自助の開発プロジェクトに授与されます。また、対象となるプロジェクトは、包括的なアプローチを用いて人道的ニーズに取り組むものとされています。3-H補助金は米貨10万ドルから30万ドルで、2年から4年にわたり支給されます。

### 3-H補助金プロジェクトの例

- ソロモン諸島で識字率向上プログラムを実施。
- ハイチの灌漑用水のために、井戸を掘削し、太陽電池を利用した汲取りシステムを設置。
- ブラジルの先住民族のために、衛生設備、飲用水、農業と保健に関する研修を提供。
- ブラジルの青少年のための職業訓練・斡旋センターを設立。

### 討論の推奨主題

- 3-Hプロジェクトが成果を上げるためには何が必要か。
- このプログラムは、ロータリー・クラブにどのような恩恵を与えるか。
- ロータリアンの個人的かつ積極的な参加がなぜ重要なのか。
- 3-Hプロジェクトが、本来自助自立であるべきというのは、どういう意味か。
- 3-H補助金を使いきってからも3-Hプロジェクトが自助自立できることは、なぜ重要なのか。

### よく尋ねられる質問

「包括的」とはどのようなことを意味しますか。

包括的アプローチには、持続可能な活動を組み合わせた複数のプログラム要素を取り入れます。この活動には、研修、地域社会の人々の参加、ロータリー地域社会共同隊、資本資産の活用、ロータリアンやその他の人々からの専門的知識の活用などがあります。



**3-H補助金協同提唱者のパートナーシップとは何ですか。**

補助金の審査の対象となるには、実施国と援助国の代表協同提唱クラブ（地区）が、3-H申請書の提出から過去5年以内に、マッチング・グラント・プロジェクトの代表提唱者として成果を挙げていなければなりません。

**3-H補助金は、学校や財団、病院、その他の団体が独自のプロジェクトを実施するために、これらの機関に支給することができますか。**

いいえ。他団体が3-Hプロジェクトに参加することは可能ですが、ロータリアンが提唱者となって開始し、管理し、実施するプロジェクトに限られます。プロジェクトはまた、ロータリーのプロジェクトとして一般の人々に認知されるものでなければなりません。

**ロータリアンによる財政的支援が義務づけられていますか。**

はい。プロジェクトの協同提唱者であるロータリアンは、少なくとも3-H補助金総額の10%を負担しなければなりません。

**3-Hプロジェクトへの寄付はポール・ハリス・フェローの対象となりますか。**

はい。協同提唱者の寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となります。

**長期にわたって持続できる実り多い3-Hプロジェクトを実施するための鍵は何ですか。**

半永久的に持続していくために必要な技能や知識を提供するなど、受益地域社会を主なプロジェクトの担い手となることです。

## 人道的補助金の資金管理

---

資金管理とは、プロジェクトの質を高めると同時に、ロータリー財団の信頼性を確保し、プロジェクトの実施期間を通じてロータリアンの参加を奨励するものです。補助金の慎重な管理に同意することは、すべての補助金の条件です。責任ある会計慣行に従って財務を管理することによって、すべてのプロジェクト資金が最終的に援助を必要とする人々に確実に恩恵を与えることができるようになります。

ロータリー財団は、寄付者の善意と寛大な精神を頼りにしています。慎重な財務管理によってこれらの寄付者の信頼を得ることができるのです。寄付者が、財団が資金を賢明に支給し、クラブと地区が補助金を賢明に使用する能力に対して不信感を持てば、ロータリー財団の信頼性が危機に陥ってしまいます。その結果、クラブや地区のプロジェクトを支援するための寄付が減少してしまうでしょう。

補助金の使途を報告することは、資金管理の重要な要素であり、世界中で善行を引き続き推進するという財団の努力を助長するばかりでなく、米国国税庁の慈善目的の非営利免税措置対象団体の地位を確保することにもなります。この地位を維持するには、慈善プロジェクトを援助する補助金がどのように使用されたかを示すロータリー財団の報告書類が義務付けられているため、クラブと地区は、それぞれの報告責任を果たさなければなりません。

資金管理手続に準拠するためには、参加クラブ間の綿密な相互の連絡が必要です。ロータリー財団から補助金を取得するには、人道的補助金の申請書に漏れなく記入し、協同提唱クラブが協力しあって、プロジェクト目標を実現するための資金使用方法を明記した計画案を作成しなければなりません。この計画案を綿密に検討することで、クラ

ブは、プロジェクトの内容を充実させ、広くロータリアンの参加を奨励し、プロジェクトをより効果的に実施することができるのです。

### 討論の推奨主題

- すべてのロータリー財団補助金に必要な資金管理の基本的な責務にはどのようなものがあるか。
- 責任ある資金管理を行うため、人道的補助金プロジェクトを開始するに先立ち何を行うことができるか。
- プロジェクトの参加者が頻繁に相互の連絡を取り合うことはなぜ重要なのか。
- プロジェクト参加者、プロジェクトの受益者、およびロータリー財団にとって、資金管理とは何を意味するか。

### よく尋ねられる質問

クラブや地区は、どのように資金管理の責務を遂行することができますか。

- プロジェクトの一切の経費に関する完全な会計記録を維持する。
- 少なくとも5年間、すべての領収証を保管する。
- ロータリー財団とプロジェクト提唱者に、プロジェクトの進捗状況と成果について報告する。

報告書はなぜ義務づけられているのでしょうか。

- ロータリー財団の報告要件を満たし、その慈善的、非営利的立場を維持するため。
- プロジェクトの成果を反省し、プロジェクトの効果を測り、将来のプロジェクトに応用するための教訓を得るため。例えば、同じ協同提唱者と再度協力して他のプロジェクトを実施したいか。実施する場合、どの部分を変えたいか。
- ロータリーの出版物を通じ、ロータリー世界とプロジェクトの達成を共有するため。
- プログラムを改善する方法をロータリー財団の職員に示すため。

全報告書に含めなければならない情報は何か。

- プロジェクトの詳細な説明
- 実施国と援助国の協同提唱クラブ／地区のロータリアンがどのようにプロジェクトに参加したかに関する説明
- ロータリアンの監督および管理に関する十分な説明
- 収入と経費の明細
- 収入と経費の明細に対応する銀行取引明細書
- プロジェクト受益者に関する説明文
- 協力団体の役割（該当する場合）

報告書を提出するのは誰の責任ですか。

プロジェクトの双方の協同提唱者。ただし、協同提唱者の一方が、報告書の作成にあたり、主導的役割を担う。一般的に、プロジェクト資金を管理するクラブあるいは地区が報告書を準備し、ロータリー財団へ報告書を提出する前に相手の協同提唱者から所見を求める。





---

# ポリオ・プラス

ポリオ・プラスは、ポリオ撲滅の証明を受けることを目標とするロータリーの活動です。ポリオ・プラス補助金は世界的規模の研究所間ネットワークを支援します。これは、ポリオ症例を見定め、ポリオの予防接種の重要性に対する認識を高めるために社会動員手段を提供し、子供たちに予防接種を施し、世界からポリオを撲滅するための国際的活動を支援するうえで不可欠なネットワークです。

## ポリオ・プラスの統計

- ポリオ・プラス・プログラムの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明です。「撲滅」という言葉を、WHO、世界的証明委員会 (Global Commission on Certification)、そしてロータリーは、野生ポリオウィルスの伝播の抑止という意味で用いています。
- ポリオの撲滅が世界的に証明される頃には、ロータリーの世界ポリオ撲滅活動への寄付額は米貨8億5千万ドルを上回る見込みです。122カ国以上が、ポリオ・プラス補助金から恩恵を受けています。
- 1985年のポリオ症例件数と比べると、2006年の世界中の推定件数は99%以上 減少しました。
- 2007年1月1日現在、世界で70%を超える子供たちがポリオのない国々に住んでいます (1988年には10%でした)。
- 西半球、西太平洋、および欧州地域は、それぞれ1994年、2000年、2002年にポリオフリー (ポリオ無発地域) であることが証明されました。
- ポリオ・プラスやプログラムへの寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となります。

## 討論の推奨主題

- ポリオのない国々のクラブは、ポリオ・プラスにどのように参加することができるか。  
ポリオ・プラスに寄付する。ポリオ撲滅を成功させるためには、ロータリアン全員の参加が必要である。
- ポリオは依然として脅威を与えているか。  
ポリオが存在する限り、子供たちは危険にさらされている。ポリオ撲滅の闘いにおける大きな進展にもかかわらず、未だこの病は数千人の子供たちの身体の自由を奪い

続けている。間違った安心感に浸ってはならない。今すぐポリオ・プラスを支援し、明日の子供たちのために安全な、ポリオのない世界を築くべきである。

## よく尋ねられる質問

私の寄付はどのように使われていますか。

20億人以上の子供の予防接種に役立ち、またポリオの発生を察知するシステムを強化するために使われています。

ポリオ・プラスのために寄せられる資金は、認証の対象となりますか。

はい。

ポリオのワクチンはいくらですか。

わずかに米貨60セントで、1人の子供をポリオから守ることができます。

ワクチン投与のほかに何をする必要がありますか。。

ロータリアンは、ワクチンの冷却輸送、ワクチン接種に携わる地元ボランティアの研修と物資供給、予防接種を推進するための効果的な広報活動の確立、症例の有無の監視を行う保健員の研修、および研究室でのウィルス検出確認などを行う必要があります。

ポリオ研究所ネットワークの目的は何ですか。

野生ポリオ・ウィルスを監視するために検便を行い、その伝播を追跡することです。

ポリオ・プラスの資金は、現在どのように使用されていますか。

子供たちにワクチンを届け、ウィルスが常在する地域を特定するための世界中の監視活動を強化すべく使用されています。

シェア資金を直接ポリオ・プラスに寄付することができますか。。

はい。地区はDDFの一部をポリオ・プラスに配分するよう奨励されています。

---

# 教育的プログラム

## 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

---

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターは、世界平和と理解というロータリー財団の使命を達成するにあたっての主要な教育分野の優先事項です。ロータリー・センターは、フェローが飢餓や貧困、人権問題、資源をめぐる争い、その他の平和の障害となる問題に中心的に取り組むことを可能にすることによって、平和のために活動する未来の地域社会および世界的指導者を育成します。

60名までの新しいロータリー世界平和フェローが、毎年、世界競争制の下で選ばれ、国際関係、平和研究、紛争解決などに関連する分野の修士レベルの学位を取得するための2年間の大学院課程で研究を行います。毎年、世界競争制の下で審査される候補者を推薦するよう、全地区に呼びかけられています。6校のロータリー・センターは、以下の大学内にあります。

- ・ 国際基督教大学（東京都）
- ・ クイーンズランド大学（オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン）
- ・ ブラッドフォード大学（英国、ウェストヨークシャー州）
- ・ デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国、ノースカロライナ州）
- ・ カリフォルニア大学バークレー校（米国、カリフォルニア州）
- ・ サルバドル大学（アルゼンチン、ブエノスアイレス）

### プログラムの目的

1. 平和、親善、紛争の原因と世界理解の問題に関する研究、指導、知識の推進を図る。
2. さまざまな国々と異なる文化から選ばれたロータリー世界平和フェローにさらに高度な教育を提供し、将来、政府、民間企業、教育、報道機関、その他の職業分野において指導者となる可能性をもつ人々に知識と世界理解を推進する。
3. ロータリー財団とロータリー・クラブが世界理解と平和に向かって、より効果的に人々の寛容と協力を推進する。

## 討論の推奨主題

- ロータリー世界平和フェローの選考基準
  - 適切な分野の学士号を持ち、優秀な学業成績を収めていること
  - 該当分野で、合計最低3年間の（有給または無給の）実地・勤務経験があること
  - 2カ国語以上の言語に堪能であること（母国語が話されている国に留学する場合であっても）
  - 指導力が実証されていること
  - 個人的な奉仕活動と社会奉仕活動、および学業成績や職務の業績を通して国際理解と平和への貢献の意思を示していること
  - ロータリー世界平和フェローシップと関連する明確なキャリア目標を持っていること
- 国際親善奨学金とロータリー世界平和フェローシップの違い
  - 国際親善奨学生は、奨学金留学中にどのような科目も履修することができる。ロータリー世界平和フェローは、国際関係、平和研究、紛争解決に特に焦点が絞られる。
  - ロータリー世界平和フェローは、世界競争制に基づき選考される。
  - 1学年度国際親善奨学金は、1学年度にわたって留学し、通常この期間中に学位を取得しない。ロータリー世界平和フェローは、米国の修士またはこれに相当するレベルの学位プログラムで、1ないし2学業年度研究する。
  - ロータリー世界平和フェローは、教科課程の一環として、各ロータリー・センターが独自に設けた年次研修セミナーと専攻分野の実地体験に参加する。
- ロータリアンは、どのように国際問題研究のためのロータリー・センターとロータリー世界平和フェローを支援することができるか。
  - 世界競争制に基づき授与されるフェローシップを競う有資格の候補者を探し推薦する。
  - 毎年、地区財団活動資金（DDF）の一部をロータリー・センターのために優先的に寄付する。
  - 未使用の地区財団活動資金（DDF）をロータリー世界平和フェローの支援のために使用する。
  - フェローシップ基金に毎年米貨25,000ドル以上寄付してくれる地域内の大口寄付者を特定する。

## よく尋ねられる質問

当地区は、ロータリー世界平和フェローを支援するために地区財団活動資金（DDF）のどれくらいを寄付すべきでしょうか。

DDFによる寄付は、金額を問わずいつでも歓迎されます。この世界的なロータリーの活動を支援するため、全地区が一部の金額を寄付するよう奨励されています。

ロータリー世界平和フェローを支援するために毎年米貨25,000ドルあるいは隔年に米貨50,000ドルを寄贈する地区は、「平和推進地区」として認証されます。地区は、教育的プログラムのための未使用の地区財団活動資金（DDF）を配分することを考慮するよう奨励されています。

当地区が推薦したフェローが、世界競争制に基づき選ばれる最終候補者に選ばれなかった場合、当地区が寄贈した資金はどうなるのでしょうか。

地区財団活動資金 (DDF) から寄贈された資金は、世界競争制に基づき選ばれたフェローの当該期生全員を支援することを目的としていますので、DDFの配分は当該地区により推薦された特定のフェローのためには使用されません。この理由により、地区が推薦した候補者が選ばれなかった場合も、資金が地区へ戻されることはありません。この資金支給方法により、推薦地区がプログラム資金を支給する能力があるか否かに関わりなく、世界全体での最高の候補者の選考が保証されることになります。

元国際親善奨学生も、ロータリー世界平和フェローシップを申請する資格がありますか。

はい。元奨学生が必要とされるその他の資格基準に適っていれば資格があります。

## ロータリー平和および紛争解決研究プログラム

---

ロータリー平和および紛争解決研究プログラムは、財団の最も新しい教育的プログラムで、3か月間にわたり専門家を養成する修了証プログラムです。タイ、バンコクのチュロンコーン大学の平和および紛争解決研究のためのロータリー・センターで開講されています。プログラムは、さまざまな業種の専門職従事者が各自の分野において平和を培い、平和的に紛争を解決することができるよう、紛争解決のための手段を教授することに焦点を当てています。プログラムの参加資格は、適切な分野の専門職における経験と、その分野においてこれまで熱意を示してきた実績が主要要素となっています。毎年2回のコースが行われ、各コースの定員は最高30名までとなっています。コースは英語で行われ、7月～9月と1月～4月に開講されます。各コースの一部は紛争解決理論に関する授業形式で行われる一方、残りの部分は理論的知識を現場で応用するための実習形式を取ります。地区は、年2回の世界競争制による選考のために、資格を備えていると思われる候補者を何人でも推薦するよう奨励されています。ロータリー平和および紛争解決研究プログラムは、国際問題研究のためのロータリー・センターとは別のプログラムです。

ロータリー平和および紛争解決研究プログラムのための資金は、他の多くのロータリー教育プログラムとはまったく異なる方法で集められます。ロータリー財団は、各参加者の雇用主にできる限りプログラムの費用を寄付するよう要請します。候補者の雇用主がプログラムの全費用を賄えない場合は、自動的にロータリー財団のロータリー平和および紛争解決研究フェローシップ補助金の支給が検討されます。同フェローシップ補助金は、雇用主がプログラム費用をまったく寄付できない場合の全額支給フェローシップか、あるいは雇用主から支給されないプログラム費用の一部を補う不足分支給フェローシップのいずれかとなります。ロータリー平和および紛争解決研究プログラム選考委員会が、プログラム申請者の選考とフェローシップの授与に関するすべての決定を行います。

## プログラムの目的

ロータリー平和および紛争解決研究プログラムは、以下を通じて、世界理解と平和を推進するというロータリー財団の使命を支えています。

- 平和と寛容の文化を目指して努力するよう人々を鼓舞し、それを達成するために、実践者と学者との交流などを通じて、能力、知識、技能を向上させる。
- 政府や企業、教育、報道、その他の分野においてリーダーとなる潜在性に基づき、異なる国々や文化から選ばれたロータリー平和および紛争解決研究プログラムの参加者に、高度な国際的教育の機会を与える。
- 世界理解と平和を達成するために、国際ロータリーのロータリー財団およびロータリアンが、人々の間により効果的に寛容と協力の精神を促進する手段を提供する。

## 討論の推奨主題

- ロータリー平和および紛争解決研究プログラムの選考基準
  - － 授業で使用する言語となる英語に堪能であること
  - － 学士号または同等レベルの学位を保持していること
  - － 少なくとも5年の職務経験（紛争解決や調停に関連した分野が望ましい）を有し、現在も仕事に就いていること
  - － 指導力を実証していること
  - － 個人的活動と社会奉仕活動を通して、または学門上、職務上の業績を通して、平和と国際理解への専心を実証していること
  - － 明確な目標を持ち、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムで習得したことを将来活用できる可能性があること
- 「ロータリー平和および紛争解決研究プログラム」と「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター」の違い

	ロータリー平和および紛争解決研究プログラム	国際問題研究のためのロータリー・センター
期間	3カ月	最高2年間
学生数	年に2回、各コース定員30名	毎年60名を選出
学位	修了証	米国の修士課程（または同等の学位）
資金の提供	一部	全額
場所	タイ、バンコク	5カ国にある6つのロータリー・センター
申請書の締切日	年度中随時（ただし、毎年7月1日と12月1日を目標締切日とする）	7月1日（受講開始の14～20カ月前）
地区あたりの候補者数	制限なし	1名
必須言語	英語	授業の教授言語を含む2カ国語以上



- ・ ロータリアンは、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムをどのように支援することができるか。
  - － 世界競争制の選考に向けて、適格な候補者を探し、推薦する
  - － ロータリー平和および紛争解決研究プログラムとその参加者を支援するために、毎年、地区財団活動資金 (DDF) の寄贈を優先する
  - － 未使用のDDFをロータリー平和および紛争解決研究プログラムの参加者を支援するために配分する

## よく尋ねられる質問

### 申請書の締切日はいつですか。

各地区がそれぞれの締切日を設けます。ただし、地区は、(世界競争制の) 選考委員会の各会合の遅くとも6週間前までに、ロータリー財団に候補者の申請書を提出する必要があります。地区は、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) で、申請書提出締切日に関する最新情報を確認し、世界競争制に基づく選考の締切日に間に合うよう、申請書の審査と面接の実施に十分な時間の余裕を見て、クラブからの申請書の提出締切日を設定すべきです。地区が推薦する1月コース申請書のロータリー財団への提出締切日は7月1日、7月コースの提出締切日は12月1日となっています。。

### クラブまたは地区が推薦できるロータリー平和および紛争解決研究プログラム申請者の人数には制限がありますか。

いいえ、ありません。クラブは地区レベルでの選考に向けて、何人でも有資格の申請者を推薦することができます。各地区および無地区クラブもまた、世界競争制に基づく審査のために、資格のある候補者を何人でも選び、推薦することができます。

### 地区が推薦した候補者が、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムの参加者として受け入れられなかった場合や財団から資金が提供されなかった場合、地区が寄贈した分の地区財団活動資金 (DDF) はどうなりますか。

地区の推薦を受けたすべての候補者が、プログラムに受け入れられ、費用の全額、あるいは一部に充てる資金を受領するわけではありません。申請者の選出において考慮されるのは、申請者の資格だけではなく、コースの定員数に関係する場合や、全額または一部費用の申請数に対応するための資金の限度に関係する場合もあります。

地区が寄贈した地区財団活動資金 (DDF) の配分額は、世界競争制に基づいて選ばれたプログラム参加者に資金を提供するために使用されます。つまり、地区財団活動資金の配分は、特定の参加者に使用されるわけではありません。この理由から、地区が推薦した候補者が最終的に選ばれなかった場合にも、DDFは地区に戻されません。

### 元ロータリー国際親善奨学生、または元世界平和フェローは、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムに申請することができますか。

はい、資格要件を満たしていれば申請することができます。

## 国際親善奨学金

---

国際親善奨学金プログラムは、民間資金による世界最大の大学留学の奨学金プログラムです。1947年以来、ロータリー財団は37,000人を超える奨学生に奨学金を授与してきました。例年、全地区の約70%が、奨学生を派遣するか、受け入れるかのどちらかの形で参加しています。

### 討論の推奨主題

- 国際親善奨学金プログラムの目的を叶えるには  
国際親善奨学金の主要目的は（ロータリアンが周知のように）国際理解と世界平和を助長することです。プログラムの目的は、国際親善奨学生とその派遣および受入れロータリアンに、国際親善奨学金がいかにロータリー財団の使命を効果的に推進するかを幅広く理解してもらうことです。
- 国際親善奨学金プログラムの目標  
国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を助長しようというロータリー財団の使命を、以下の方法で支援します。
  - － 国際親善使節を外国に留学させ、文化の相違に対する意識と敬意を増進すること
  - － ロータリーの奉仕プロジェクトへの積極的な参加により、ロータリーの理想である「超我の奉仕」の考えを奨学生にの中に育むこと
  - － 奨学生が各自の地域社会や国の人々の生活の質を向上させるために、個人生活と職業生活を捧げるよう奨励すること
  - － 世界地域社会の人道的ニーズに取り組むことのできる指導者を育成すること
  - － 奨学生を地理的に均等に送り込み、世界の全地域に影響を与えること
  - － 低所得国からの奨学生のために教育の機会を増やすよう、世界中のロータリアンを奨励すること
  - － ロータリーと奨学生との間に生涯を通じての結びつきを育むこと
- 地理的な分散  
2006-07年度には、822名の奨学生を85カ国へ派遣し、そのうちの52パーセントが5カ国（米国、英国、フランス、オーストラリア、カナダ）に留学しています。2006-07年度、低所得国に留学したのは、わずか21パーセントの奨学生のみです。各地区は、以前に奨学生を派遣した国とは異なる国へ留学する奨学生を選ぶよう奨励されています。わずかな奨学生しか受入れていない国への留学を希望する奨学生を選ぶことにより、奨学生を地理的に均等に派遣することができ、地区は、世界の全地域に良い影響を与えるというプログラム目標を叶えるよう助力することができます。さらに、低所得国への留学を希望する奨学生を選ぶことにより、世界中の地域社会の人道的ニーズに取り組む指導者を育成するというプログラムの目的の実現に、地区が貢献することができます。
- 学業分野  
国際親善奨学生が勉強する学業分野は決められていませんが、ロータリー財団は、実質の人道的影響を地元の地域社会にもたらす学業分野で勉強する候補者を推薦するよう、地区とロータリー・クラブに推奨しています。
- 低所得国による参加  
地区は、低所得国のために奨学金の数を増やす機会を与える低所得国のための奨



学金共同基金を支援することができます。地区財団活動資金 (DDF) のこの新しい選択肢によって、世界競争制に基づいて低所得国の学生に授与される奨学金共同基金に、地区が寄付することが可能になります。各低所得地区は奨学金の種類にかかわらず、奨学生候補者を1名推薦するよう奨励されています。すべての地区は、低所得国出身の候補者に年間少なくとも32口の奨学金を支給するために、この共同基金にDDFから寄贈するよう奨励されています。2007-08年度、ロータリー財団は、23カ国の低所得国出身の奨学生に対し、共同基金を通じて27口の奨学金を授与しました。

さらに、高所得地区は、引き続き低所得国へ国際親善奨学金を寄贈するよう奨励されています。地区は、他地区あるいはロータリーのない国に、2007-08年度の留学用として、11口の国際親善奨学金を寄贈しました。奨学金の寄贈は、寄贈地区および受領地区双方の緊密な連絡が必要とされ、その他の交換や人道的プログラムの提携関係を結ぶ効果的な方法であることが実証されています。

- 奨学生のオリエンテーション—奨学生のための地域オリエンテーション

派遣および受入れ奨学生へのオリエンテーション・プログラムは、奨学生が親善使節としての役割を果たし、ロータリーとの生涯の絆を結ぶための有効な手段です。奨学生は、クラブや地区、あるいは地域が派遣オリエンテーションを開催する場合には、それに出席するよう義務づけられています。オリエンテーションには、スピーチやプレゼンテーションの準備や実施方法に関する研修が含まれています。派遣地区がオリエンテーションを行わない場合、地区は他地域のオリエンテーションに奨学生を派遣するよう奨励されています。出席できるはずのオリエンテーションに欠席した奨学生は、奨学金の受領権利を失う恐れがあります。

地区は、奨学生とロータリーの間により大きな一体感と関係を築くため、奨学生を派遣および受入れ奨学生のためにオリエンテーションに出席させるよう奨励されています。ロータリー財団は、多地区合同オリエンテーションを支援するために、助成金を提供します。

- 学友連絡活動

多くの地区は、奨学生が帰国後にロータリーとの関係を継続して保たないことに不満を表明してきました。他方、多くの奨学生は、ロータリーが自分たちのことを覚えていないことに不満を漏らしています。派遣地区は、効果的な学友連絡活動を通じて新しいプログラム目標（ロータリーと奨学生の生涯にわたる関係を育む）を達成するための措置を講じるべきです。多くの帰国奨学生は、その時点ではロータリーに入会できるような専門職務に就いているわけではありませんが、連絡を維持し（地区外へ移住した場合であっても）、他のさまざまな方法でロータリーに関与させ続けてください。

- クラブ、地区、ローターアクト、社会奉仕および国際奉仕プロジェクトに協力するよう求める
- 派遣および受入れ奨学生のためのオリエンテーションに参加してもらう
- クラブ例会や地区の会合に奨学生を招いて話をしてもらうようクラブに奨励する
- 地区学友会を結成する。
- 奨学生学友が、派遣地区から移転した場合、移転先の地区に知らせてください。学友に、移転先のロータリー地区のロータリアンの氏名と連絡先を提供し、ロータリーとの連絡が絶えないようにします。

- プログラムの7つの目的を推進するために極めて重要な4つの要素は、次の通りです。

#### 1. 選考

- ロータリーの理想を最も良く代表できる候補者を募り、選考します。
- 国際親善奨学金の目的についてロータリアンを教育します。
- 「理想的候補者に関するプロフィール」および管理委員会が推薦する受入国のリストなどの資料を利用します。人道的に強い影響力を持つ分野で勉学する候補者を選出するよう奨励します。
  - 医学/衛生保健
  - 食糧生産および配送
  - 都市研究/都市計画
  - 精神衛生
  - 栄養問題
  - 環境問題の研究
  - 青少年/家族の意義

#### 2. オリエンテーション

- ロータリーの歴史、目標、理想に対する奨学生の理解を深めます。
- 留学前、留学中、留学後において国際親善奨学生としての責務を果たす準備をさせます。
- 派遣側カウンセラーが、奨学生とロータリーとの継続的関係の確立に協力します。

#### 3. 受入れ

- 受入側カウンセラーと受入ロータリー・クラブは、奨学生が受入地区内で親善使節としての役割を果たすのを奨励し、援助します。
- 地区ガバナーは、来訪する奨学生のための受入クラブを指定し、このクラブが受入側カウンセラーとなるロータリアンを指名します。
- 奨学金は、学業と親善活動を同等に重視し、受入側カウンセラーは、来訪奨学生がこの両分野に関する進捗を財団に報告するよう要請されます。
- 派遣側および受入側カウンセラーは、奨学生が、奨学金支給期間が終わる1カ月前に、ロータリー財団に最終報告書を提出するよう確認します。

#### 4. 学友関係

- 積極的なロータリー財団学友小委員会委員長を任命し、地区が元国際親善奨学生（1940年代後半に留学した学友もいる）と連絡を取り続けるようにします。
- 奨学金期間の終了後も、奨学生と引き続き連絡し合います。理想としては、元奨学生がロータリーに入会するよう勧誘します。
- 奨学生が、ロータリアンに体験を語る機会を提供し、次世代の奨学生を支援するよう、財団に財政面の寄贈をするよう勧めます。
- 地区が派遣した元奨学生や現在地区に在住の元奨学生の業績を称えます。

## よく尋ねられる質問

シェア・システムを通じて提供される奨学金には、どのようなものがありますか。

シェア・システムの下に、3種類の奨学金があります。

1学年度国際親善奨学金 — 1学年度の海外留学

マルチ・イヤー国際親善奨学金 — 学位取得を目指す2年の海外留学

文化研修のための国際親善奨学金 — 3カ月または6カ月、語学を学び、文化に浸ることを目的とする

地区は、国際問題研究のためのロータリー・センターや低所得国のための奨学金共同基金を支援するためにDDFをいくらかでも使用することができます。

奨学金の提供はどのようにして決定されますか。

地区は、提供する奨学金の費用を賄うだけのDDFを備えていなければなりません。地元クラブを通じて申請が行われるため、地区ガバナーと奨学金小委員会委員長は、提供できる奨学金が存在するかどうかを、クラブに明確に伝えておかねばなりません。

ロータリアンの子女は、ロータリー財団国際親善奨学金を受ける資格がありますか。

いいえ。ロータリアン、ロータリー職員、ロータリアンまたはロータリー職員の両親、孫、子供、血縁あるいは養子縁組のいかににかかわらず子や孫、配偶者は、ロータリー財団国際親善奨学金を受領できません。ロータリアンがクラブを退会してから36カ月経過しないと、前記の人たちに受領資格はありません。

## 研究グループ交換

1965年に開始された研究グループ交換 (GSE) プログラムは事業または専門職務に携わる、ロータリアン以外の優秀な人から成るチームが、異なる国の組み合わせ地区内を視察するための補助金を授与するものです。チームは、4週間から6週間を海外で過ごし、そこで受入国の制度、経済、生活様式を学び、その国における専門職務の様子を視察し、受入国の人々との友情を培いながら、アイデアを交換します。

成功を収めた研究グループの体験談を地区のニュースレターや地区大会で特に強調することを考慮してください。研究グループ交換プログラムをメディアを通じて推進してもらうための助言やプレスリリース見本は、オンラインのみで入手可能な「GSEニュース・キット」([www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/251ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/251ja.pdf)) をご参照ください。

RIに対して財政的義務を果たしている地区はすべて、毎年GSEチームを派遣するために国際財団活動資金 (WF) を申請する資格があります。交換は1ロータリー年度内に実施されることになります。地区は、1ロータリー年度を通じ、最高2組のGSEチームを派遣することができます。国際財団活動資金を活用できるのは、1チームのみで、もう1チームの方は、DDF、組み合わせ地区が寄贈したDDF、もしくは恒久基金への使途指定の寄付を活用しなければなりません。

- チームリーダーの資格要件。GSEチームリーダーは、任命を行う地区の生存している直前ガバナー、現職のガバナー、またはガバナー・エレクトの配偶者、直系卑属、または再婚による子（養子縁組のいかににかかわらず）であってはなりません。元地区ガバナーは、他の有資格の候補者がいない場合に限り、以下の条件の下でチームリーダーを務めることができます。

- チームリーダーとなる機会が地区のロータリアンにも与えられるよう、開かれた選考手続きであること
- 語学力や職業、その他のニーズなど、交換の特別必要事項に関して最も適任であるという理由から、元ガバナーが選ばれていること
- チームメンバーの資格条件。毎年、交換後短期間しか専門職務に留まらないチームメンバーが選ばれた場合にプログラムの目的が達成されないのではないかという多くの意見が、ロータリアンからロータリー財団に寄せられます。チームメンバーの申請者は、現在、一般に認められている事業または専門職務に常勤で雇用されていなければなりません。候補者の職業上の発展にできる限り長期的な影響を与えることを考慮し、25歳から40歳の人を候補者として選ばなければなりません。チームメンバーは、ロータリアン、ロータリー関係組織の職員、現存ロータリアンの配偶者、尊属、直系卑属、またはその配偶者であってはなりません。養子ではなく、再婚によるロータリアンの継子や継孫には、GSEに申請する資格はありません。
- 追加チームメンバー標準的な研究グループ交換チームは、4名のチームメンバーと1名のチームリーダーからなっています。シェアDDFを使用して、最高2名までのロータリアンではない追加チームメンバーを追加することができます（チームメンバー1名につき、米貨2,000ドル、近隣国との交換の場合は1名につき1,000ドル）。

GSEチームメンバー候補者の選考手続きに関して、クラブや地区のGSE選考委員会委員を務めるロータリアンは、委員会に候補者との関係（私生活や職業における関係など）を知らせる必要があります。委員長は、その委員がこの候補者へ投票しないよう計らうなど、状況にどう対処するかを決定します。候補者との関係はすべて同委員会に申告しなければなりません。

## 研究グループ交換の例

- 特別重点分野または単一職業GSE

第1280地区（英国）からのGSEチームが、単一職業交換を目的に第6440地区（米国イリノイ州）を訪れました。イングランドとマン島からやって来たこのチームは、警察官2名、災害対応スペシャリスト1名、政府関係者2名を含む、緊急事態管理を専門とする仕事に就く人々で構成されていました。

チームの交換目的は職業に関するもので、さまざまな緊急準備機関と警察署を訪問しました。訪問先には、地元の消防署、警察署、緊急事態管理センター、FBIのコンピューター・セキュリティ部門、病院の緊急事態準備部門、救急電話の応答・派遣センターなどが含まれていました。

交換で職業訪問に焦点を当てたことで、チームは、米国の緊急準備について学んだだけでなく、英国の緊急準備について受入地区の人々に教えることもできました。こうした交換を通じて、チームは、緊急プランニングといった自分たちのさまざまな担当部門で情報交換を行うことができ、GSEの体験がなければ得ることのなかった機会であったと話しています。

- 文化的GSE

アリゾナ州（米国）第5500地区からアメリカ先住民のチームが、西オーストラリアの第9470地区を訪問し、オーストラリアからはアボリジニのチームがアリゾナを訪れ、相互に経験を分かち合いました。訪問の終わりに、各チームは次のような同じ社会問題に直面していることに気づきました。交換によって、チームメンバーは、先住民の人々が国に対して多大に貢献していることに気づき、多くの少数民族が未だ地域社会



で直面している社会的困難を克服する方法について、互いのチームから学ぶ機会が与えられました。

- 従来型の複数職業GSE

2006年11月、ザンビア（第9210地区）からのGSEチームが南アフリカ（第9300地区）を訪問しました。この交換は両国の関係が改善されたことを示すものでした。「アフリカ南部のロータリー史上初めて、以前に争いのあった近隣2カ国で研究グループ交換が行われたケースです」と話すのは第9300地区のGSE委員長です。「1994年にアパルトヘイトが崩壊してから、南アフリカとその近隣諸国はお互いに対話を持つことができるようになりました」チームは金とダイヤモンドの鉱山、石油精製所、鉄鋼会社、保険会社、その他の事業、農場、複数のロータリー・プロジェクトを訪問しました。南アフリカからのチームは、2007年4月にザンビアを訪れました。近隣国同士のGSEは、第9210地区から第9300地区への米貨6,000ドルのDDF寄贈により実現されました。

## 討論の推奨主題

- GSEの相手を見つける

GSEの相手を見つけるために、各地区はあらゆる国際交流の機会を利用するべきです。RI国際大会、国際協議会、マッチング・グラントまたは青少年交換での関係、クラブ会員の海外旅行一般などがこれに含まれます。地区は、共通点を持つ世界の地域のみでなく、GSEを通じて発見し、学ぶことができるよう、さまざまな地域も検討しなければなりません。地区はまた、ロータリー財団の人道的目的を考慮し、マッチング・グラントあるいは世界社会奉仕プロジェクトにつながるような組み合わせ地区を探すべきです。毎年、約30件のマッチング・グラント・プロジェクトがGSEの組み合わせを通して築いた関係から生じています。

多くの地区は、前もってGSE組み合わせ相手地区を独自に手配することを希望していますが、特定年度内に研究グループ交換チームの派遣を申請する地区の約25パーセントは、事前に手配した組み合わせ地区がありません。財団は通常、地区ガバナーが「GSE地区申請書」に明記した地理的要望に応じて、ロータリー地区を組み合わせることができ、特に異なる文化、言語、および宗教を体験したいとの地区の要請を優先的に考慮します。

毎年、組み合わせ地区が決まっていない地区のグループにはさまざまな地区が含まれているため、全地区に第一希望を組み合わせることを保証するのは不可能です。地区は、組み合わせ地区の地理的な条件に対して柔軟に受け入れるよう奨励されています。また、インド、ブラジル、米国などの国の地区が特にGSEに積極的に参加しているため、これらの地区と組み合わせられる可能性が最も頻繁となります。

- GSEの職業的要素の充実

ほとんどのチームメンバーにとって、研究グループ交換で最も重要なことは職業との関連性です。受入側の日程に充実した職業研修日が計画されていれば、優秀なチームメンバーを募ることができます。地区は、各チームメンバーの職業に合わせて職業訪問を調整し、メンバー1人あたり少なくとも5日間の職業研究日を設けなければなりません。職業研究日が適切に準備されるよう、派遣地区が各メンバーの詳細な経歴や職歴を相手側に伝えることが大切です。チームメンバーが単に職場を見学するだけのツアーよりも、参加型活動や同じ職業分野での実践活動などが好まれます。財団は、訪問GSEチームの航空券を手配する前に、受入地区による日程表が提出されることを徹底して義務付けています。これにより、チームメンバーが受入日程

に目を通し、意見を伝え、最終的に受入地区で実施されるプログラムを承認することができるようになります。

- 候補者が仕事を離れるのが難しい場合、どのようにチームメンバーを見つけることができるか。

地区は、創意に富む方法で候補者へのGSEプログラムの推進を検討すべきです。例えば、地元報道機関やローターアクト会員とネットワーク作りをしたり、企業の人事部と話すことなどです（広報とプレスリリース見本は、オンラインで入手できる「GSEニュース・キット」をご参照ください）。単一職業または特別重点分野に主眼を置いたチームの交換を計画することをご検討ください。この方法は、応募資格が絞られており、チームメンバー見込者にとって職業的意義も高いため、候補者を多く募ることができます。チームは、1つの職業（例えば教師から成るグループなど）、あるいは特定の分野内の多様な職業（例えば、医療技師、医師、歯科医、病院職員などから成る医療に関するチーム）で構成されます。

口コミほど最良の宣伝方法はありません。各地区は元のチームメンバーとの連絡を密にし、彼らにこのプログラムを宣伝、推進してもらえよう激励します。

- 交換相手の地理的範囲を広げていくために、どのように交換を推進すればよいか。

地区は、これまで実施してきたGSEの参加を振り返ってみるべきです。最近アジアを訪問したのは、いつか、毎年、米国とのみ交換を行っていないかなど、多様性に注意を向けることが、プログラムの目的を確実に進行する上で、重要です。オーストラリア、ヨーロッパ、アフリカの地区と交換を行いたいという地区が少ない点にも留意すべきです。柔軟な姿勢を持つべきです。

- 相手地区とのコミュニケーションを円滑に行うにはどうすればよいか。

コミュニケーションは交換の成功に不可欠です。組み合わせ地区が決定し次第、派遣および受入両地区が、電話やファックスやEメールを用いて頻繁に連絡を取り合うことが大変重要です。チームが出発する少なくとも3カ月前に、派遣地区は、受入れ地区が効果的な職業研修日を計画するために、チームの紹介文を送らなければなりません。これを怠った場合には、受入れ側が準備する日程が、チームの要望に沿わないものとなってしまう可能性があります。

## よく尋ねられる質問

**当地区は、ここ数年GSEのために国際財団活動資金を利用していません。当地区が現在使用できる国際財団活動資金はいくらですか。**

研究グループ交換のための国際財団活動資金は累積されません。つまり、過去数年のロータリー年度に国際財団活動資金を申請していないとしても、資金が次の数年度に繰り越されることはありません。各地区は毎年、国際財団活動資金を使って研究グループ交換を派遣することを、ロータリー財団に申請できます。

**GSE選考委員会には、地区のどのような会員が含まれるべきですか。**

地区GSE委員長、直前地区ガバナー、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、および時期をずらして交代で3名のロータリアンが含まれます。選考委員会には、元チームリーダー、元チームメンバー、恒久基金寄付者、国際関係や異文化交流の専門家、地元企業や地元自治体役員など、投票権を持たない委員会顧問を選考委員会に含めることも可能です。

選考委員会の委員が、委員会会議や面接に出席でない場合はどうするか。

地区GSE委員長は、委員会が全員出席できる時に会合を持つべきです。委員全員の出席が不可能な場合は、代理を派遣することができ、選考委員会の議事録に欠席の理由と出席者を正確に記録する必要があります。委員会議事録、面接過程、および各チームメンバーやチームリーダー候補者に関する評価などを正確に記録し、地区でのGSE選考過程が公正であり、透明性をもっていることを示す必要があります。

当地区は地理的に分散しており、外国への旅行には追加資金が必要です。ロータリー財団からの援助が受けられますか。

GSEチームを派遣側する際の海外渡航費を賄うために、地区に払われる追加助成金はありません。しかし、来訪するGSEチームが受入地区内で移動するための交通費に充てる助成金があります。管理委員会は、低所得国を含む受入国に対し、地区内交通費にあてるための特別助成金（米貨600ドル）を支給します。1つまたは複数の低所得国を含む多国籍の受入地区は、地区内の航空運賃にあてるための追加の2,500ドルを要請することができます（米貨3,100ドル以上の経費は受入地区の負担となります）。これらの助成金のいずれの資格もない地区は、このような旅費を賄うために地区資金を貯めるか、地区内でGSEチームが訪問する場所を年度ごとに循環させるよう勧められています。

GSEでの好ましくない経験に、どう対処すればよいですか。

チームメンバーが危険または適切でない行為に遭遇した場合、ロータリー財団のGSEコーディネーターに直ちに連絡してください。不利の状態に直ちに報告するに及ばない場合は、地区が直面した問題をGSEの最終報告で説明してください。その説明を補足する資料があれば添付してください。この情報をロータリー財団GSEコーディネーターに送付すれば、調査をいたします。起きた問題がこのプログラムの誠意を損なうものであると判定された場合、地区は保留またはGSEプログラムへの参加を見合わせる措置を取られることになります。

質問や懸念がまだある場合、誰に連絡したらよいでしょうか。

GSE部のあなたの地区を担当しているGSEコーディネーターに連絡を取ってください。電話：1-847-866-3330、ファックス：1-847-556-2143、Eメール：gse@rotary.org。

## 大学教員のためのロータリー補助金

大学教員のためのロータリー補助金は、開発途上国（自国以外の）の大学で教鞭を執る、現職あるいは引退した大学教員に対し、機会を提供するものです。ロータリアンは補助金の受領者になることができますが、申請するためにはロータリー・クラブの会員である必要はありません。

### プログラムの目標

- 低所得国での高等教育を充実させ、理解を築くこと。
- 補助金受領者の母国および受入れ教育機関の教師間における、教授法やアイデアの交換を推進すること。
- 受入国に実用的な価値のある科目を教える教員を後援することを通じて、低所得国の発展を促すこと。

## 討論の推奨主題

- どうすれば大学教員のための補助金プログラムはその可能性を全面的に開花させることができるか。

この財団教育プログラムはその目標を達成している一方、プログラムの可能性が十分に生かされていない部分もあります。受入れ国において教授が必要とされる分野が明確にされておらず、広報が行き届いていないため、派遣地区による候補者の募集が困難である上、参加地区の数も限られています。クラブと地区は、大学教員の募集では、地区内の人材と低所得国の地区のニーズを組み合わせるのに時間がかかる、ということを経験しなければなりません。大学教員の派遣に関心をもつ地区は、資格のある候補者が教務に就くことのできる地域の大学と連絡し合い、深い関係を築くよう奨励されています。

- クラブはどうすれば参加できるか。

志望者を募る、海外へ赴く教員のオリエンテーションを行う、来訪中の大学教員の受入側カウンセラーを務めるようクラブ会員に奨励する、これから海外へ旅立つ教員、来訪中の教員、帰国した教員にクラブ例会での卓話を依頼し、クラブ・プロジェクトへの参加を要請するなどして、クラブが参加することができます。

## よく尋ねられる質問

**当地区はどのようにしてロータリー大学教員のための補助金を授与できますか。**

大学教員のためのロータリー補助金にDDFを使用することによって、シェア・システムを通じて授与することができます。

**補助金にはどのような種類がありますか。**

3～5カ月の奉仕のために米貨12,500ドル、あるいは6～10カ月の奉仕のために米貨22,500ドルの2種類があります。2009-10年度は、3～5カ月が13,000ドル、6～10カ月が24,000ドルとなります。

**ロータリアンまたはその親族は大学教員の補助金を受領することができますか。**

ロータリー財団の寄付者は受益者となってはならない、というのがロータリー財団の方針ですが、一部のロータリー財団プログラムは、ロータリアンも参加できます。大学教員のためのロータリー補助金プログラムはボランティア奉仕に基づいているため、ロータリアンおよびその親族も参加することができます。



## ロータリー財団学友

---

学友関係では、学友によるプログラムや後輩の指導、奉仕活動などへの参加を促し、ロータリーへの「お返し」をしてもらうために、ロータリー財団プログラムの元参加者とのつながりを再び取り戻します。

### 学友関係の目標

- ・ ロータリー財団プログラムの元参加者とロータリーとの間の生涯の絆を築くこと。
- ・ 学友がロータリーにとってかけがいのない存在であり、ロータリーが学友を歓迎していることを理解してもらうこと。
- ・ ロータリー・クラブへの入会の関心を高めること。
- ・ 奉仕や財政的支援を通じて、ロータリーに恩返しする方法を学友に与えること。

### ロータリー財団学友によるロータリーへの関与の例

- ・ ロータリー財団プログラムの擁護者となる。
- ・ プログラム参加者を募るための勧誘者となる。
- ・ オリエンテーションに参加する。
- ・ 地区選考委員会の助言者を務める。
- ・ クラブ、地区、その他の地域の会合で講演者を務める。
- ・ 現在のプログラム参加者、インターアクトまたはローターアクトの会員の指導者となる。
- ・ 奉仕プロジェクトに参加する。
- ・ 交換プログラム参加者を迎える。
- ・ 年次プログラム基金または恒久基金に寄付を行う。
- ・ 地区学友会

### 討論の推奨主題

- ・ 当地区は、ロータリー財団学友を財団プログラムにどのように関与させることができるか。
- ・ クラブ、地区学友小委員会、およびロータリー財団学友コーディネーターは、クラブ活動に参加する学友を増やすために、どのように協力できるか。
- ・ 地区やクラブはどうすれば学友をロータリー・クラブに入会させることができるか。
- ・ ロータリアンは学友に寄付を依頼するために、どのように接することができるか。
- ・ クラブでの卓話を依頼できるのは、財団のどの学友か。
- ・ 地区学友会を設けることの利点は何か。

### よく尋ねられる質問

#### 財団学友とは誰ですか。

1947年以来、ロータリー財団から奨学金や補助金を受領した105,000人を超える人々です。すなわち、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チームリーダーとチームメンバー、ロータリー平和および紛争解決研究プログラム参加者、大

学教員のためのロータリー補助金、ボランティア奉仕活動補助金、元個人向け補助金、元世界社会奉仕助成金、元新人道的補助金およびロータリー・ボランティア補助金の受領者たちです。

**ロータリー財団学友コーディネーターとは誰ですか。**

ロータリー財団管理委員会から任命されるロータリー財団学友コーディネーターは、世界に43名います。同コーディネーターは、ロータリーが学友と生涯にわたる関係を維持できるよう、地区やクラブに支援を提供します。また、学友が地区とクラブのプログラムや活動への参加するのを助け、財団職員や学友と協力して研究会、地域セミナー、地区活動といったロータリー行事への学友の出席を促進します。ロータリー・クラブで学友の会員を増やしたり、財団への寄付を募るため、地区やゾーンの指導者とも協力します。

---

# 寄付増進

---

## なぜロータリー財団を支援するのか

---

- ロータリー財団の使命を推進する

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。この使命は、ロータリアンの財政面での支援があつてこそ達成できるのです。

- ロータリー財団はロータリアンのものである

ロータリー財団は、世界中でロータリーのプログラムを推進するという目的のみに設置された財団法人です。ロータリアンが、支援するプログラムと提供する資金額を決めます。全ロータリアンの夢は、世の中の将来を形作り、他の人々の生活を改善することです。

- ロータリー財団は、最も高く評価されている慈善団体の1つである

ロータリー財団は、米国の非営利組織に関する代表的な雑誌、「Chronicle of Philanthropy」誌の「米国で最も成功している400の拠金団体」の1つとして常に評価されています。また、米国で慈善団体の評価を行う大手機関、チャリティー・ナビゲーターより最高評価を表す4つ星の格付けを受けました。

---

## 二つのニーズに応える、二つの寄付方法

---

**説明：**「二つのニーズに応える、二つの寄付方法」とは、ロータリー財団の包括的な拠金メッセージです。二つのニーズは、ロータリー財団の今日の広範囲にわたるプログラムを財政的に支援し、明日の成功を確保することです。これらのニーズに応える二つの方法とは、年次プログラム基金と恒久基金に対する寄付です。

「二つのニーズに応える、二つの寄付方法」は、「財団友の会」会員やベネファクター、大口寄付者など、ロータリー財団へのあらゆる寄付方法を包括しています。累計寄付額が米貨250,000ドル以上の寄付者の写真が、国際ロータリー世界本部で行われる表彰式においてアーチ C. クランフ・ギャラリーに飾られます。

## 年次プログラム基金

---

### ロータリー財団への拠金方法

- ・ 拠金メッセージとして「二つのニーズに応える、二つの寄付方法」を推進する。
- ・ 年次プログラム基金への支援を推進する。
- ・ 「毎年あなたも100ドルを」(EREY) 推進活動は、財団プログラムにボランティアとして活動し、また財団年次プログラム基金に寄付することによって、ロータリアン全員がロータリー財団に参加することを奨励するものです。

- ・ 個人的に寄付をする。

模範を示して導く：米貨100ドル以上を毎年年次プログラム基金に寄付して、「財団の友」会員になります。

- ・ 寄付を懇願する。

毎年、すべてのロータリアンが年次プログラム基金へ米貨100ドル以上の寄付を行うよう、要請します。各クラブ会員に寄付を個人的に懇請する財団連絡担当者を各クラブが指定します。

- ・ 全クラブが年次プログラム基金目標を設定していることを確認する。

「毎年あなたも100ドルを」の一環として、全クラブが年次プログラム基金目標を設定することは、極めて重要です。すでに、1人当たり米貨100ドル以上に達したクラブに対し、さらに高い目標を設定するよう奨励します。

- ・ すべてのロータリアンに「財団友の会」会員になるよう奨励する。

「財団の友」会員とは、年次プログラム基金に毎年米貨100ドル以上を寄付する会員を指します。年次プログラム基金への継続的な支援がなければロータリー財団のプログラムは有り得ないということを、ロータリアンは認識しています。

- ・ 大口チャレンジ寄付を求める。

使用できる財団認証ポイントや個人からの寛大な寄付を活用し、クラブや地区のロータリアンが年次プログラム基金に寄付するよう促します。

- ・ 特別行事を催す。

- － 8キロマラソン／5キロウォーク
- － 財団晩餐会
- － 手紙キャンペーン
- － 競売会

- ・ 法人従業員の組み合わせ寄付を行う。

### よく尋ねられる質問

年次プログラム基金に寄付するには、どの方法が一番よいですか。

年次プログラム基金に寄付するには、以下の4つの一般的な方法があります。

- ・ 現金またはクレジットカードで
- ・ 有価証券と投資信託で
- ・ 法人職員のマッチング・ギフトまたは法人寄付で
- ・ 電子送金（詳細は日本事務局までお問い合わせください）

各ロータリアンが、毎年、年次プログラム基金に寄付することがなぜ重要なのか。

年次プログラム基金は毎年使用されるため、継続的に資金を補充する必要があります。

「財団の友」会員プログラムとは何ですか。また、このプログラムはなぜ重要なのか。

「財団の友」会員とは、年次プログラム基金に毎年米貨100ドル以上を寄付する会員を指します。毎年、すべてのロータリアンからの米貨100ドル以上の寄付で、ロータリー財団はプログラムを維持し、さらに成長させることができます。

なぜ、年次プログラム基金目標を設定するのですか。

ロータリー財団の全体の拠金目標を達成する上での進捗状況を測るため、すべてのクラブと地区は、年次プログラム基金の支援のための寄付目標を立てるよう求められています。目標は、達成可能でありながら取り組みがいがあり、前年度の寄付を上回るものであるべきです。

年次プログラム基金への寄付はどのように認証され、配分されるのですか。

寄付は、寄付者および所属クラブの寄付として認証され、地区およびクラブの年次プログラム基金目標に適用されます。シェア・システムの下に、年次プログラム基金への寄付は3年間投資された後、財団のプログラムに活用されます。年次プログラム基金の投資収益で、寄付増進、一般管理費、およびプログラム経費が賄われます。3年が経った時点で、年次プログラム基金全体の50パーセントは、地区が財団プログラムに使う財団活動資金として地区に戻されます。そして、残りの50パーセントは、ロータリー財団が国際財団活動資金として、すべてのロータリー地区が寄付額にかかわらず利用できる、世界的なプログラム（例えば、研究グループ交換、マッチング・グラントの組み合わせ部分など）のために使用されます。

使途指定の寄付は、地区年次プログラム基金の目標に適用されますか。

いいえ。マッチング・グラント、ポリオ・プラス、冠名奨学金などの使途指定寄付は、地区からのロータリー財団への寄付の一部とみなされます。これらは、年次プログラム基金目標には適用されず、クラブや地区の1人当たりの寄付には数えられません。

年次プログラム基金への寄付は、特定のプログラムに指定されていますか。

いいえ。年次プログラム基金へのすべての寄付は、使途無指定寄付となります。

年次プログラム基金への寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となりますか。

はい。認証ピンは、寄付に対するロータリー財団の「感謝の意」を形にしたものです。

ロータリー年度ごとの年次プログラム基金への寄付の重要性について、クラブ会員にどのように説明すればよいですか。

毎年、すべてのロータリアンが、ボランティア精神と自発的な寄付を通じて、ロータリー財団に参加することが重要です。クラブ週報、クラブと地区の財団セミナー、地区協議会やその他の地区会合を通じて、このメッセージを伝えてください。ロータリアンを教育し、参加を促し、ロータリー財団を支援するよう呼びかけてください。地区ガバナーの指導、地区財団委員会の支援、クラブでの卓話、月信などは、「毎年あなたも100ドルを」を遂行する上で極めて重要です。

年次プログラム基金への寄付を通じて、ロータリアンが実現できること

米貨100ドルの寄付で以下を提供することができます。

- ・ タイの恵まれない子供1人の1年間の教育費
- ・ メキシコ・シティーの近隣地域社会で生活している低所得者25人の歯科治療と医療
- ・ コロンビア、ピラヌエバの学校への教科書
- ・ 米国アイオワ州の6名の高齢者への骨粗鬆症教育プログラムと骨密度測定検査
- ・ モンゴルの児童養護施設が運営している教育用農場に電力を与える10,000キロワットの変圧器1基

米貨500ドルの寄付で以下を提供することができます。

- ・ インド、プネの失明した若者7人の角膜移植
- ・ 南アフリカ、ホルフォンタインの小学校の学生300名と教師11名が使えるトイレ一式
- ・ 米国ニューメキシコ州の虐待を受けた婦女のための保護施設、ラ・カサへの家具と玩具
- ・ トルコ、クマコイのゲイレテッピ・ロータリー・クラブ小学校に複数のコンピューター
- ・ 日本茨城県の高校生に、作品展示用のイーゼルを15脚

米貨1,000ドルの寄付で以下を提供することができます。

- ・ 韓国の汚染された湖を清掃する2つの市の社会奉仕共同隊を支援
- ・ ウガンダ、ルウィザの住民にマラリア防止用の蚊帳を167枚
- ・ メキシコ、サン・ミケル・デ・アイエンデ近隣の農村学校の60名の学童が利用できる遊具
- ・ フランスの自閉症を患うティーンエイジャーの施設に職業訓練器具
- ・ ナイジェリアの農村手押しポンプつき深い井戸数基

米貨5,000ドルの寄付で以下を提供することができます。

- ・ ジンバブエの農業研修センターに養魚場を設置するための給水設備。これで年に50人の研修が可能になる
- ・ インド、デリーのスラム街に住む5万人に、コンピューター操作、縫製、編物、刺繍などの職業訓練
- ・ グアテマラの農村部の65人を対象とした識字率向上プログラムへ、書籍寄贈と10名の講師を派遣
- ・ インドの視覚障害者の検診をするための移動眼科

米貨10,000ドルの寄付で以下を提供することができます。

- ・ ハイチの6つの村落の住民の自活を可能にするための、給水と衛生設備、バナナの木、養鶏、屋上庭園
- ・ メキシコの貧しい人々50人のための口唇裂の手術とリハビリテーション
- ・ ブラジルの200人分の白内障手術
- ・ アルゼンチンの病院のための新生児救命装置

- ・ ナイジェリア都市部で社会学を教える米国の大学教授のための、3～5カ月分の支援金
- ・ インドの病院に血液銀行用設備

## 恒久基金

---

年次プログラム基金がロータリー財団の現行のプログラムを運営するために必要な資金であるのに対し、恒久基金は財団が世界の今後の最も重要なニーズに確実に応えられるようにするものです。恒久基金への大口寄付は、基金の一部として永久に蓄えられます。寄付金は専門家によって投資され、その収益の一部は毎年、管理委員会や寄贈者が特定した目的に使われます。従って、恒久基金への寄贈は増大し、ロータリー財団を将来も支援し続けることができます。

- ・ すべてのクラブがベネファクターおよび「遺贈友の会」の目標を設定するよう確認する  
各クラブは、毎年、年次プログラム寄付目標を設定するのと同様、ベネファクターと「遺贈友の会」の目標も設定するよう求められます。
- ・ すべてのロータリアンに、ベネファクターとなることを検討するよう奨励する  
ロータリアンに、遺言の受益者をロータリー財団として指定するか、または恒久基金に米貨1,000ドル以上の使途無指定寄付をするよう奨励します。
- ・ ロータリアンに「遺贈友の会」会員になるよう奨励する  
遺贈友の会の認証は、少なくとも米貨10,000ドルに値する遺贈誓約に対して授与されます。
- ・ 冠名基金を求める  
米貨25,000ドル（最低）を恒久基金に寄贈することで、冠名基金を設置できる機会をロータリアンに理解してもらいます。

### よく尋ねられる質問

#### 恒久基金はなぜ必要なのですか。

恒久基金は、財団の諸プログラムの需要の増加に対応し、世界各地における緊急な人道的ニーズを満たす能力を拡充するために特別な収入源を提供して財団の堅実な未来を確保すべく、1982年に創設されました。恒久基金は、ロータリーとの間の永続的な独自の遺産を創設する方法を、ロータリアンや他の財団の友人に提供します。

#### ロータリー財団は遺贈を勧めますか。

ロータリアンは、年次プログラム基金に寄贈するよう求められているのと同様、遺贈を通じて恒久基金への寄贈を誓約するよう奨励されています（二つのニーズに応える、二つの寄付方法（173-JA）を参照）。

#### 恒久基金への寄付方法には、どのようなものがありますか。

遺言や資産計画による遺贈、生涯年金寄贈（慈善残余権信託、慈善贈与年金、積み立て基金など）、不動産、現金または投資の使途無指定寄付。



寄贈を特定の目的に使用するように指定する方法はありますか。

寄贈者は、米貨25,000ドル以上の寄付によって恒久基金内に冠名基金を設置することができます。寄付者もしくはその指定代表者は毎年、冠名基金の最新情報を受け取ります。

恒久基金の目標は何ですか。

恒久基金新募金計画では、最終的に米貨10億ドルを達成することを目標に、2005年までに2億ドルという短期目標が設定されました。この目標は1999年、すなわち目標より6年早く達成されました。2001年10月には、市場価格と誓約で、2005年6月30日までに米貨5億ドルを達成するという新しい短期目標が設定され、この目標は2006年9月に達成されました。現在の目標は2025年までに米貨10億ドルを達成することです。

恒久基金寄付の収益はすべて使われるのですか。

いいえ。毎年、管理委員会は、恒久基金の実質価値が投資期間を通じて増大し、年次支出率が長期予測収益率から予測物価上昇率を差し引いた金額を越えないようにするため、支出に関する方針を検討します。詳しくは、ロータリーのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) からダウンロード可能な「恒久基金に関する財務報告」をご覧ください。

## 大口寄付

---

大口寄付とは米貨10,000ドル以上の寄付を指し、年次プログラム基金、恒久基金、使途が指定されたロータリー財団プログラムへの寄付となります。

年次プログラム基金への大口寄付は、全額使用されます (例えば、チャレンジ寄付)。ロータリー財団プログラムの1つに使途を指定する大口寄付の1例として、1名の奨学生が1年間勉学するための資金を支援する冠名国際親善奨学金があります。

恒久基金への大口寄付は、恒久的にプログラムを支援することになります。寄贈者は、以下のレベルの冠名基金を設置することができます。

- 米貨25,000ドル — 恒久基金内に冠名基金を設立し、この基金の収益は、管理委員会の裁量 (国際財団活動資金) により、またはシェアを通じて (地区財団活動資金と国際財団活動資金) 使用される。
- 米貨50,000ドル — 収益は財団プログラム (教育的プログラムもしくは人道的補助金) に使われる。
- 米貨150,000ドル — 承認されたロータリー財団プログラム (特定の地区のための1学年度国際親善奨学金または研究グループ交換など) 内のプロジェクトを支援するための冠名基金を設置するのに必要な最低額。

### よく尋ねられる質問

大口寄付者の認証の行事とは何ですか。

地区やクラブは、公式の場で大口寄付者や遺贈友の会会員にクリスタルとピンを贈るよう奨励されています。これは、新たな寄付者を認証すると共に、まだ寄付していない人に寄付の意欲を喚起するためです。ふさわしい行事として、夕食会や昼食会、朝食会、あるいはカクテル形式のレセプションなどが考えられます。



ロータリー財団はどのように大口寄付を募っているのですか。

米国およびカナダでは、地区ガバナーおよび地区ガバナー・エレクトが2年任期の地区恒久基金委員長を任命しています。地区恒久基金委員会の本来の責務は、大口寄付の見込者を探し、その関心を喚起し、寄付の手続きを援助することです（恒久基金新募金計画は当初、恒久基金への大口寄付を募るために設立されましたが、年次プログラム基金への寄付を募るために適用することもできます）。

私は、ロータリー財団の熱心な支援者だった夫を亡くしたロータリアンの未亡人を知っています。どうすればよいでしょうか。

地区恒久基金委員会に知らせ、その未亡人が地元の行事に招待され、寄付見込者として扱われていることを確認し、適切であれば、寄付をお願いするよう計ります。また、支援が必要な場合は、Eメール（[plannedgiving@rotary.org](mailto:plannedgiving@rotary.org)）にて担当の財団職員までご連絡ください。

ロータリー財団はどのような寄贈を受け付けていますか。

ロータリー財団は、現金寄付、公開有価証券、非公開株、金融債、不動産、生命保険、個人の有形資産などを受け付けています。これらに加え、ロータリー財団は、現在ロータリー財団を支援しながら、寄贈した資産から収入を受け続けることを希望する寄付者には、生涯年金の寄付という選択肢も設けています。異例の寄付や複雑な寄付については、寄付受理委員会によって検討された後に受領されます。寄付の受理指針はロータリーのウェブサイト（[www.rotary.org](http://www.rotary.org)）でご覧いただけます（英語のみ）。

以下の方法で地区を支援します

- 地区内に財団講演者の紹介所を設ける。
- ゾーンおよび地区の主な指導者、元ロータリー奨学金受領者、研究グループ交換プログラム参加者、およびロータリー財団職員の助力を求め、財団への支援を呼びかけるメッセージを広める。
- ロータリーのウェブサイト（[www.rotary.org](http://www.rotary.org)）を頻繁に閲覧するよう、ロータリアンに奨励する。
- 出版物とその他の資料は、出版物注文サービス（電話：1-847-866-4600、ファックス：1-847-866-3276）または[shop.rotary.org](http://shop.rotary.org)から注文することができる。
- ロータリー財団が世界中でどのように人々の生活を改善してきたかを示す個人的な体験談を話す。

## 寄付増進業務：認証と報告

---

ロータリー財団の寄付増進業務は、財団への寄付および寄付認証に関する情報を管理しています。

討論の推奨主題

- 寄付認証の2重の役割
  - ロータリー財団への寄付者に感謝する。
  - ロータリー財団を推進し、他の人々からの寄付を奨励する。

・ 寄付者認証の形式

1. 「財団の友」会員（年に米貨100ドル以上の寄付）
2. ポール・ハリス・フェロー（米貨1,000ドルまたは相当額）
3. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（最初のポール・ハリス・フェローのレベルを超えて追加の米貨1,000～9,000ドルを寄付した場合）
4. ベネファクター（恒久基金への米貨1,000ドルの資産計画または使途無指定寄付）
5. 大口寄付者（6段階の認証。ロータリー財団に対する少なくとも米貨10,000ドル以上の個人の使途無指定寄付あるいは累積寄付）
6. 「遺贈友の会」（米貨10,000ドル以上の遺贈。6段階の認証）

マルチプル・ポール・ハリス・フェローの認証

既にポール・ハリス・フェローになっている人がロータリー財団の年次プログラム基金へ米貨1,000ドルの追加寄付を行った場合、希望すれば、寄付者はサファイアが1つ付いたポール・ハリス・フェロー・ピンを受け取ることができます。ロータリー財団（年次プログラム基金、マッチング・グラント）に最高米貨6,999ドルまで1,000ドル単位で寄付するごとに、最高5つまでのサファイアの付いたピンを受け取ることができます。米貨7,000ドルから9,999ドルまでの1,000ドル単位の寄付については、寄付者は、寄付額に応じてルビーが付いたピン（最高3つまで）を受け取ることができます。現在、マルチプル・ポール・ハリス・フェローは、1,000ドルの寄付を行うごとに、他の人1名をポール・ハリス・フェローに指定することができます。

PHF*/RFSM* 寄付額（米ドル）	マルチプル・ポール・ハリス・ フェローに着用資格の与えられる 襟ピン
2,000 から2,999.99	サファイア石1つ
3,000 から3,999.99	サファイア石2つ
4,000 から4,999.99	サファイア石3つ
5,000 から5,999.99	サファイア石4つ
6,000 から6,999.99	サファイア石5つ
7,000 から7,999.99	ルビー石1つ
8,000 から8,999.99	ルビー石2つ
9,000 から9,999.99	ルビー石3つ

\*ポール・ハリス・フェロー/\*\*「財団の友」会員

次のプログラムへの寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となります。年次プログラム基金、承認されたマッチング・グラントの提唱者側の負担分、ポリオ・プラス、国際財団活動資金。恒久基金への寄付はベネファクターの認証の対象となります。

- クラブ・バナー認証の種類

1. 100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブ（クラブの全正会員がポール・ハリス・フェローである場合）
2. 100パーセント「財団の友」会員クラブ（すべての正会員が、ロータリー年度内に個人的に年次プログラム基金へ米貨100ドル以上の寄付を行い、1人当たり100ドルの寄付を達成したクラブ）
3. 「毎年あなたも100ドルを」クラブ（ロータリー年度内に、クラブの寄付が1人当たり米貨100ドルに達し、正会員全員が年次プログラム基金にいくらかの金額を寄付したクラブ）
4. 1人当たり寄付額の上位3クラブ（資格を得るためには、クラブは、最低1人当たり米貨50ドルを達成しなければなりません）

## 2種類の主な寄付報告

- 月次寄付報告

- 送付先：地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、財団委員長、年次寄付委員長、クラブ会長、クラブ幹事。
- 頻度：「会員アクセス」(<https://riweb.rotaryintl.org/ja>) を通じて随時、オンライン利用が可能です（クラブと地区の役員は登録が必要）。
- 内容：クラブごとの月次と今日現在の年次プログラム基金への寄付額、今日現在の使途指定と恒久基金への寄付額、クラブごとの年次プログラム基金への1人当たり寄付額統計、寄付額最上位3位クラブ、地区の全般寄贈目標とシェア・プログラムの参加への進捗状況に加えて、（各クラブの年次プログラム基金目標額とその目標への達成度をパーセントで示す）新しい欄が2つ。この他に、月次寄付報告書の最後にあるシェア要約ページには、7月の半期報告書の会員数および全クラブの目標と地区年次寄付目標に基づいた、1人当たり米貨100ドルの地区のベンチマーク（達成すべき水準）が示されています。

- クラブ寄付認証概要報告書

- 送付先：地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、財団委員長、年次寄付委員長、クラブ会長、クラブ幹事、地区インターネット・コミュニケーション担当役員。
- 頻度：「会員アクセス」(<https://riweb.rotaryintl.org/ja>) を通じて随時、オンライン利用が可能です（クラブと地区の役員は登録が必要）。
- 内容：クラブのポール・ハリス・フェロー、クラブの現年度と昨年度の「財団の友」会員一覧表、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター。クラブと地区が、認証記録が正確であるかどうかを随時確認することができます。
- さらに、ポール・ハリス・フェローを指名するために使用できる財団の認証ポイントも含まれます。

## シェア・システム

---

シェアによって、地区は、寄付の使途について自らの意思を反映させることができ、地区内で最も関心の高いロータリー財団プログラムに参加することができます。シェアの下、地区からの年次プログラム基金への全寄付が寄付年度末に集計され、2種類の活動資金に分けられます。各地区の年次寄付の50パーセントが地区財団活動資金（DDF）となります。参加を希望する財団プログラムの資金を調達するために、各地区にDDF使用の機会が与えられます。残りの50パーセントは、国際財団活動資金（WF）となります。国際財団活動資金は、寄付額にかかわらず、研究グループ交換（毎年使用可能）、3-H補助金、マッチング・グラント、ボランティア奉仕活動補助金、その他の新しい試験的プログラムに使われます。

### 討論の推奨主題

- なぜこの仕組みは「シェア」と呼ばれるのですか。  
ロータリアンは、世界中のロータリアンとその財産を「シェア（共有）」します。管理委員会は、意思決定権限の一部を地区に「シェア（分与）」します。そしてロータリアンは、財団、財団プログラムを通じて世界中とロータリーを「シェア（分かち合う）」します。
- 地区におけるシェアの手続き
  1. 1月、地区財団委員長にシェア資料の封筒が送付され、これにはシェア報告書およびシェア計画ワークシートが同封されています。
  2. 地区は、地区内のロータリアンの関心が最も高いプログラムはどれかを判断するため、地区内ロータリアンの意向を調査します。
    - － クラブにアンケートを送付する
    - － ニュースレターを通じて意見を求める
    - － 公式訪問中に意見を聞く
  3. クラブからの希望を受け取った後、地区ロータリー財団委員会と地区ガバナーが地区のDDFの使途を決定します。地区が補助金（地区補助金、マッチング・グラント、国際親善奨学金、国際問題研究のためのロータリー・センターへの寄付など）の申請を送付した後、管理委員会がこれらの補助金申請を承認するか、あるいは寄付が行われ次第、ロータリー財団がこれらの金額を地区のシェア勘定から差し引きます。
  4. 地区は、受領地区が計画を立てる際に寄付を組み入れることができるようにするため、3月1日までに奨学金寄付をロータリー財団に提出しなければなりません（例えば、地区が奨学金を寄贈する場合、受領地区は奨学金の宣伝や奨学生選考のための時間が必要となります）。

### よく尋ねられる質問

**2008-09ロータリー年度の寄付は、何年度のロータリー財団プログラムに利用可能ですか。**

2011-12年度です。ロータリー財団は、寄付が実際に使用される前に、寄付を3年間投資します。投資収益によって、ロータリー財団の管理運営費および寄付増進経費が賄われます。

未使用のDDFはどうなりますか。

未使用のDDFは、次の年度に繰り越されます。ただし地区は、利用可能となる最初の年度中にプログラムを支援するためにできるだけ多くのDDFを使用するよう奨励されています。

地区内のロータリアンが恒久基金に米貨1万ドルを寄付しました。なぜ、この寄付が地区のDDF残高に反映されていないのでしょうか。

恒久基金や他の使途指定寄付は、シェアの対象になりません。なぜなら、寄付者が寄付の使途をあらかじめ指定しているからです。恒久基金寄付の一般収益の50パーセントは、寄付者が寄付を行った時点で希望した場合、寄付者の地区のDDFに加えられます。

地区は奨学金の選択を希望していますが、DDF残高が不足しています。次年度のDDFから前借することによって、この選択肢を選ぶために必要な資金を寄付することができますか。

いいえ。すべての寄付は、3年間の寄付周期を経なければなりません。

これまで、地区は奨学金の種類と数を具体的に指定して配分してきました。地区が事前に資金を配分しなくなった現在、ロータリー財団は、各地区がどの奨学金を提供するのかをどのように知ることができるのですか。

地区は、自らのDDFの決定を記録し、随時確認しなければなりません。ロータリー財団は、奨学金の申請書が承認され次第、DDFから資金を差し引きます。



---

# ロータリー財団の財務

---

## 財務報告

ロータリー財団は、非営利団体がその資産、収入、支出を以下の3種類の純資産に分類することを義務づける米国の財務報告基準を採用しています。

- 使途無指定 — 寄付者により条件が付されていない純資産。これは主として年次プログラム基金への寄付から成ります。さらに、一切の投資資金（年次プログラム基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金）に関連するすべての収入、支出、利益、損失は、無条件の純資産の増額として分類されます。
- 一時的使途指定 — 時の経過とともに失効するか、あるいは条件に明記された目的が果たされた時点で解消するような条件を寄付者が付したことにより、ロータリー財団による使用が制限されている純資産。ポリオ・プラス基金は、一時的使途指定として分類されます。ポリオ・プラス基金は、プログラム補助金に限定された任意寄付と政府補助金からなる基金です。管理委員会は、使途無指定の純資産の増額として分類される基金の収益を、ポリオ・プラス・プログラム補助金および同プログラムの運営費に充てています。
- 恒久的使途指定 — 恒久的収入源を提供するために投資すると明文化されている寄付による純資産（例：各種基金）。このような条件は時の経過とともに失効することもなく、所期の目的遂行により解消されることもありません。恒久基金は、恒久的使途指定に分類されます。この基金は、その収益のみをロータリー財団プログラムの支援に使用できることを特に指定した寄付を受け付けるものです。収益は、無条件の純資産の増額として分類されます。

財務に関する詳細は、「ロータリー財団年次報告書」（187B-JA）に掲載されます。









The Rotary Foundation  
of Rotary International  
One Rotary Center  
1560 Sherman Avenue  
Evanston, IL 60201-3698 USA  
[www.rotary.org](http://www.rotary.org)